

2003 年春季年会

# 年会プログラム

於 東北大学

2003 年 3 月 24 日 (月) ~ 3 月 26 日 (水)

日本天文学会

<年会プログラムは、取り外せます。>

# 日本天文学会 2003 年春季年会プログラム

場 所 東北大学川内北キャンパス (案内図参照)  
 〒 980-8576 宮城県仙台市青葉区川内 東北大学構内  
 電話 090-4387-6893 <使用期間 2003年3月23日(日)～3月26日(水)>

日 程

月日	会場	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	
3月23日 (日)							記者会見					
							公開講演会					
3月24日 (月)	A	N. 恒 星			(理 事 会) 昼 休 み	ポ ス タ ー	N. 恒 星			ALMA 特 別 セ ッ シ ョ ン		
	B	M. 太 陽					M. 太 陽					
	C	R. 銀 河					R. 銀 河					
	D	Q. 星 間					Q. 星 間					
	E	S. 銀 河 核					S. 銀 河 核					
	F	L. 太 陽 系					L. 太 陽 系 / K. 天 力					
	G	T. 銀 河 団					T. 銀 河 団 / X. 情 報					
3月25日 (火)	A	N. 恒 星			ポ ス タ ー	(評 議 員 会) 昼 休 み	N. 恒 星			総 会 受 付 券 了 受 付 券 確 認	研 究 奨 励 賞 受 賞 記 念 講 演	
	B	M. 太 陽					M. 太 陽 / Y. 教 育					
	C	R. 銀 河					R. 銀 河					
	D	Q. 星 間					P. 星・惑星					
	E	V. 地 上 観					V. 地 上 観					
	F	W. 飛 翔 観					W. 飛 翔 観					
	G	U. 宇 宙 論					U. 宇 宙 論					
3月26日 (水)	A	N. 恒 星			ポ ス タ ー	昼 休 み	N. 恒 星			天 文 教 育 フ ォ ー ラ ム		
	B	A. 光 赤 外					A. 光 赤 外					
	C	R. 銀 河					P. 星・惑星					
	D	P. 星・惑星					V. 地 上 観					
	E	V. 地 上 観					W. 飛 翔 観					
	F	W. 飛 翔 観					ジュニア					
	G	ジュニアセッション										

- A 会場 : B101 (B棟1F)
- B 会場 : B102 (B棟1F)
- C 会場 : B104 (B棟1F)
- D 会場 : B103 (B棟1F)
- E 会場 : B201 (B棟2F)
- F 会場 : B202 (B棟2F)
- G 会場 : B204 (B棟2F)

- 受 付 : 談話室 (B棟1F)
- ポスター会場P1 : 自習室 (B棟2F)
- ポスター会場P2 : A205 (A棟2F)
- ポスター会場P3 : A202 (A棟2F)
- ポスター会場P4 : A201 (A棟2F)
- 総 会 会 場 : A200 (A棟2F)
- 会 議 室 1, 2 : A103, A102 (A棟1F)
- 懇 親 会 会 場 : 生協食堂

◎講演数

講 演 数 : 合計 538

(口頭講演 (a) : 314、ポスター講演 (b) : 155、ポスター講演 (c) : 69)

## ◎参加費用

	会員	非会員	
基本登録料	3,000円	5,000円	会員は1講演の登録料を含む
講演登録料	0円	5,000円	
追加講演登録料	3,000円	5,000円	追加1講演につき
年会予稿集	2,000円	2,000円	購入希望者のみ

※基本登録料・講演登録料・追加講演登録料は、会期中に受付にて忘れずにご納付下さい。

## ◎講演に関する注意

1. 口頭発表は7会場で行います。口頭講演(添字a)は、口頭発表9分、質疑応答3分です。ポスター講演(添字b)は、口頭発表3分、3講演で12分を割り当て、座長の判断で質疑応答を行います。

※時間厳守：講演制限時間を超過した場合は、直ちに降壇していただきますので、講演者の皆様は制限時間を厳守できるよう特に万全の準備をお願いします。

2. ポスター発表(添字b)、(添字c)は、3日間掲示できます。ポスターは縦180×横90cmまで掲示できます。ポスター会場の指定された場所に、3月24日の9:30から3月26日の13:00まで掲示できます。終了後は速やかに撤去してください。
3. 講演にはOHPをご使用下さい。(ビデオ、液晶プロジェクターの使用については、事前に申し込みが必要です。)

## ◎会期中の行事

1. 記者会見 : 23日(日) 13:30～ 仙台国際センター  
学会講演の中から、3～4のトピックスを選び、記者会見を行います。
2. 公開講演会 : 23日(日) 14:00～16:30 仙台国際センター
3. 理事会 : 24日(月) 12:00～13:00 会議室
4. ALMA 特別セッション : 24日(月) 16:00～18:00 A200 (A棟2F)
5. 評議員会 : 25日(火) 12:30～13:30 会議室
6. 総会 : 25日(火) 15:30～17:00 A200 (A棟2F)  
(15:30～16:00 総会出席者確認、16:00 総会開始)  
各賞の授賞  
主な議題 = ○2002年度事業報告  
○2002年度決算報告  
○監査報告
7. 研究奨励賞受賞記念講演 : 25日(火) 17:00～18:00 A200 (A棟2F)  
「おうし座分子雲における「星のない分子雲コア」の観測的研究」  
大西利和(名大理・助手)  
「銀河団の多波長観測を用いた宇宙論」  
北山 哲(東邦大理・講師)  
「惑星系の起源解明へ向けて」  
小久保英一郎(国立天文台・助手)
8. 懇親会 : 25日(火) 18:30～ 生協食堂
9. 教育フォーラム : 26日(水) 14:00～15:30 C会場

◎ ALMA 特別セッション

「ALMA で探る宇宙一星間物質：初期宇宙から原始惑星系まで」

主催：日本学術会議天文学研究連絡委員会  
日本学術会議天文学国際共同観測専門委員会  
日本学術会議電波科学研究連絡委員会 J 分科会  
日本天文学会  
国立天文台電波専門委員会 ALMA 計画推進小委員会

日 時 : 2003 年 3 月 24 日 (月) 16:00 ~ 18:00

場 所 : A200 (A 棟 2F)

概 要 : アルマ (ALMA = Atacama Large Millimeter/submillimeter Array; アタカマ大型ミリ波サブミリ波干渉計) 計画は、日本・北アメリカ・ヨーロッパによる共同建設・共同運用を目指し、予算措置で先行する北アメリカ・ヨーロッパによる建設が開始されようとしています。日本の建設参加はその装置性能に著しい向上をもたらすことから欧米からも強く望まれており、2004 年からの参加実現を目指した各方面との折衝が国内外で進められています。

本特別セッション「ALMA で探る宇宙」では、アルマ計画の最新の進捗状況を報告するとともに、ALMA で実現される高感度、高空間分解能、サブミリ波という周波数の窓、が日本および世界の研究にどのような新展開をもたらすかを考えます。これまで、星・惑星系形成 (2001 年春季年会)、銀河の形成と進化 (2001 年秋季)、活動的銀河中心核 (2002 年春季) を取り上げてきましたが、今回はアルマのもう一つのキーサイエンスである分光観測による宇宙物質の進化の研究を取り上げます。あわせて、日本が計画し準備を進めている赤外線観測衛星など、他波長の将来装置とアルマとの連携についても考えたいと思います。

- プログラム : 1. あいさつ (天文研連委員長 名古屋大学大学院理学研究科 池内 了)  
2. 日本天文学会の取り組み (日本天文学会理事長 神戸大学理学部 松田卓也)  
3. ALMA 計画の現状と今後 (国立天文台 石黒正人)  
4. ALMA で解き明かす星・惑星系形成環境下での物質進化  
一サブミリ波超高感度分光観測がもたらすインパクト一 (神戸大学理学部 相川祐理)  
5. 赤外線天文衛星と ALMA で探る星間物質 (宇宙科学研究所 中川貴雄)  
6. 総合討論

世 話 人 : 池内 了 (天文研連委員長、名古屋大学大学院理学研究科)  
長谷川哲夫 (天文研連委員、国立天文台)  
松尾 宏 (国立天文台)  
百瀬 宗武 (茨城大学理学部)

連 絡 先 : 松尾 宏 <h.matsuo@nao.ac.jp>  
国立天文台 電話 0422-34-3915

## ◎天文教育フォーラム

共催：天文教育普及研究会

テ ー マ : 「21世紀型科学教育の創造  
ープラネタリウム館・公開天文台の社会的役割ー」

日 時 : 2003年3月26日(水) 14:00～15:30

場 所 : C会場

概 要 : 20世紀の科学はその範中で自己完結している「知識のための科学」であった。しかし、21世紀は様々な社会の分野と関係しあい「社会の中の、社会のための科学」であることが重要と考えられる。そのために、生涯学習施設としてのプラネタリウム館・公開天文台は、社会と科学の掛け橋として地域に位置付けられ、自己評価とそれに基づいた改善策を実施する必要がある。本フォーラムにおいては、国内外の科学教育・普及の状況や事例および調査結果を紹介するとともに、天文分野における「21世紀型科学教育の創造」をめざし、広範な意見交換を試みたい。

内 容 : 1. 「科学教育の現状と学会への要望」 黒田武彦(西はりま天文台)  
2. 「総合的な学習の時間への対応 ープラネタリウム館・公開天文台へのアンケート調査よりー」 山田陽志郎(JPSホームページ委員)  
3. 「海外の自然科学系生涯学習施設の現状」  
伊東昌市(杉並区立科学館)・縣秀彦(国立天文台)  
4. 総合討論

参 加 費 : 天文教育フォーラムのみの参加者は、参加費(年会基本登録料)は不要です。年会受付で、その旨お伝え下さい。

実行委員 : 沢 武文(愛知教育大)、山縣朋彦(文部科学省)  
濱根寿彦(ぐんま天文台)、中村泰久(福島大学)

問い合わせ先: 沢 武文(愛知教育大) [tsawa@auecc.aichi-edu.ac.jp](mailto:tsawa@auecc.aichi-edu.ac.jp)

## ◎日本天文学会公開講演会

共催：仙台市天文台

テ ー マ : 「21世紀の天文学を楽しむ」

日 時 : 2003年3月23日(日) 14:00～16:30(13:30開場)

場 所 : 仙台国際センター

対 象 : 中学生以上・一般向け

講 演 I : 宇宙の歩き方

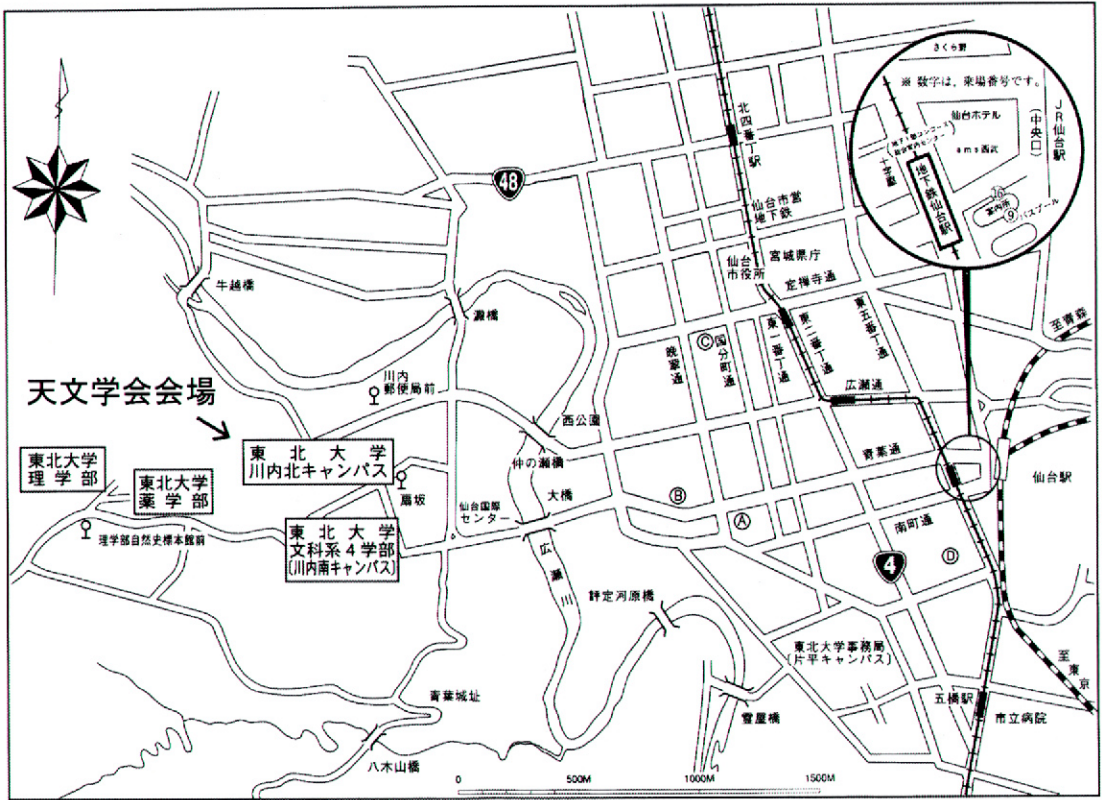
講 演 者 : 黒田武彦(西はりま天文台)

講 演 II : 宇宙の読み方

講 演 者 : 海部宣男(国立天文台・台長)

※入場無料、事前の参加申し込みは不要です。当日ご自由においで下さい。ただし、会場の都合で入場を制限する場合がございますので、早めにご来場下さい。

## 春季年会会場（東北大学）のご案内



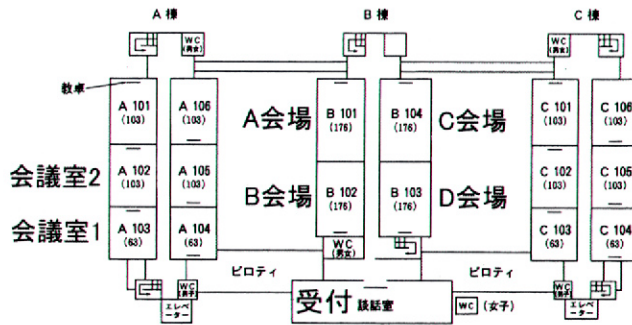
### 交通案内

仙台駅西口バスプール⑨番乗り場  
 「青葉城址循環」「宮教大」「青葉台」行乗車、「扇坂」下車（約14分）

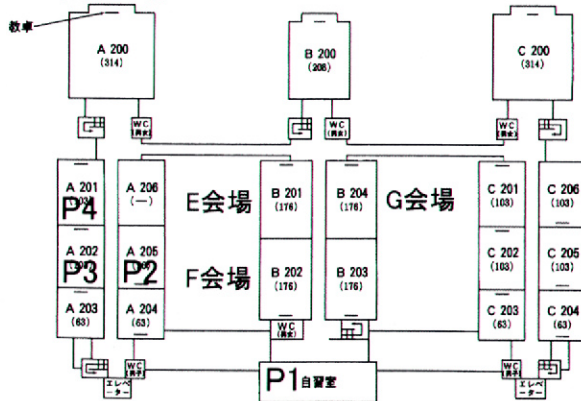
仙台駅西口バスプール⑬番乗り場  
 「交通公園（広瀬通経由）」行乗車、「川内郵便局前」下車（約20分）

# 年会会場案内図

(東北大学川内北キャンパス)



## 特別セッション 総会会場



## ポスター会場2階(P1,P2,P3,P4)

口頭セッション 3月24日(月)

時刻	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場
	【恒 星】	【太 陽】	【銀 河】	【星 間】	【銀河核】	【太陽系】	【銀河団】
10:00	N01a	M01a	R01a	Q01a	S01a	L01a	T01a
10:12	N02a	M02a	R02b - R04b	Q02a	S02a	L02a	T02a
10:24	N03a	M03a	R05b - R07b	Q03a	S03a	L03b - L05b	T03a
10:36	N04a	M04a	R08b - R10b	Q04a	S04a	L06a	T04a
10:48	N05a	M05a	R11b - R13b	Q05b - Q07b	S05a	L07a	T05a
11:00	N06a	M06a	R14a	Q08b - Q10b	S06a	L08a	T06b - T08b
11:12	N07a	M07a	R15a	Q11b - Q13b	S07a	L09a	T09a
11:24	N08a	M08a	R16a	Q14b - Q16b	S08a	L10a	T10a
11:36	N09a	M09a	R17a	Q17b	S09b - S11b	L11b - L13b	T11a
11:48	N10b - N12b	M10b - M12b	R18a		S12b - S14b	L14a	T12a
12:00	N13b - N15b	昼休み					
13:00	ポスター						
	【恒 星】	【太 陽】	【銀 河】	【星 間】	【銀河核】	【太陽系】	【銀河団】
14:00	N18a	M13a	R19a	Q21a	S15a	L15a	T13a
14:12	N19a	M14a	R20a	Q22a	S16a	L16b - L18b	T14a
14:24	N20a	M15a	R21a	Q23a	S17a	L19b, L20b	T15a
14:36	N21b - N23b	M16a	R22a	Q24a	S18a	【天 力】 K01a	T16a
14:48	N24a	M17a	R23a	Q25a	S19a	K02a	T17a
15:00	N25a	M18a	R24a	Q26a	S20a	K03a	T18b - T20b
15:12	N26a	M19a	R25a	Q27a	S21a	K04b, K05b	【情 報】 X01a
15:24	N27a	M20a	R26a	Q28a	S22a		X02a
15:36	N28a	M21a	R27a	Q29a	S23a		X03b - X05b
15:48	N29a	M22b - M24b	R28a	Q30a			X06b
16:00	N30b, N31b	M25b	ALMA特別セッション (A 200)				



口頭セッション 3月25日(火)

時刻	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場
09:30	【恒星】 N35a	【太陽】 M28a	【銀河】 R29a	【星間】 Q31a	【地上観】 V01a	【飛翔観】 W01a	【宇宙論】 U01a
09:42	N36a	M29a	R30a	Q33a	V02a	W02b - W04b	U02a
09:54	N37a	M30a	R31a	Q34a	V03a	W05a	U03a
10:06	N38a	M31a	R32a	Q35a	V04a	W06a	U04a
10:18	N39a	M32a	R33a	Q36a	V05a	W07b - W09b	U05a
10:30	N40a	M33a	R34a	Q37a	V06b - V08b	W10b - W12b	U06a
10:42	N41a	M34a	R35a	Q38a	V09b - V11b	W13a	U07a
10:54	N42a	M35a	R36a	Q39a	V14a	W14a	U08b - U10b
11:06	N43a	M36a	R37a	Q40a	V15a	W15a	U11b - U13b
11:18	N44a	M37a	R38a	Q41a	V16a	W16b, W17b	
11:30	ポスター						
12:30	昼休み						
13:30	【恒星】 N47a	【太陽】 M38a	【銀河】 R39a	【星・惑星】 P01a	【地上観】 V17a	【飛翔観】 W18a	【宇宙論】 U14a
13:42	N48a	M39a	R40a	P02a	V18b - V20b	W19a	U15a
13:54	N49a	M40a	R41a	P03a	V21b - V23b	W20a	U16a
14:06	N50a	【教育】	R42a	P04a	V24b, V25b	W21a	U17a
14:18	N51a	Y01a	R43a	P05a	V26a	W22a	U18a
14:30	N52a	Y02a	R44a	P06a	V27b - V29b	W23a	U19a
14:42	N53a	Y03a	R45a	P07a	V30a	W24a	U20a
14:54	N54a	Y04a	R46a	P09b - P11b	V31b - V33b	W25b - W27b	
15:06	N55a	Y05b - Y07b	R47a	P12b - P14b	V34b - V36b	W28a	
15:18	N56a	Y08b - Y10b	R48a	P15b - P17b	V37b - V39b	W29a	
15:30	総会 (A 200) (15:30~16:00 総会出席者確認)						
17:00	研究奨励賞受賞記念講演						
18:00	懇親会 (生協食堂)						
18:30							

口頭セッション

3月26日(水)

時刻	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場
09:00	【恒星】 N60a	【光赤外】	【銀河】 R49a	【星・惑星】 P20a	【地上観】 V43a	【飛翔観】 W30a	ジュニアセッション
09:12	N61a	A01a	R50a	P21a	V44a	W31a	
09:24	N62a	∩	R51a	P22a	V45a	W32a	
09:36	N63a	A08a	R52a	P23a	V46a	W33a	
09:48	N64a		R53a	P24a	V47b - V49b	W34a	
10:00	N65a	A09b	R54a	P25a	V50b - V52b	W35a	
10:12	N66a	∩	R55a	P26a	V57a	W36a	
10:24	N67a	A13b	R56a	P27a	V58a	W37b - W39b	
10:36	N68a		R57a	P28a	V59a	W40a	
10:48	N69b - N71b		R58b - R60b	P29a	V60a	W41a	
11:00	N72b, N73b				V61a V62a	W43a	
ポスター							
12:00	昼休み						
13:00	【恒星】 N74a	【光赤外】	/	【星・惑星】 P30a	【地上観】 V63a	【飛翔観】 W44a	ジュニアセッション
13:12	N75a			P31a	V64a	W45a	
13:24	N76a	A14a		P32a	V65a	W46a	
13:36	N77a	∩		P33a	V66a	W47a	
13:48	N78a	A21a		P34a	V67a	W48a	
14:00	N79a						
14:12	N80a						
14:24	N81a						
14:36	N82a						
14:48	N83a						
天文教育フォーラム (C会場)							
15:30							

<会場 P1>

- 【光赤外】 (7)  
 A09b, A10b, A11b, A12b, A13b,  
 A22c, A23c
- 【太陽系】 (18)  
 L03b, L04b, L05b, L11b, L12b,  
 L13b, L16b, L17b, L18b, L19b,  
 L20b, L21c, L22c, L23c, L24c,  
 L25c, L26c, L27c
- 【星・惑星形成】 (13)  
 P08c, P09b, P10b, P11b, P12b,  
 P13b, P14b, P15b, P16b, P17b,  
 P18c, P19c, P35c,
- 【星間現象】 (17)  
 Q05b, Q06b, Q07b, Q08b, Q09b,  
 Q10b, Q11b, Q12b, Q13b, Q14b,  
 Q15b, Q16b, Q17b, Q18c, Q19c,  
 Q20c, Q32c,
- 【活動銀河核】 (15)  
 S09b, S10b, S11b, S12b, S13b,  
 S14b, S24c, S25c, S26c, S27c  
 S28c, S29c, S30c, S31c, S32c
- 【地上観測機器】 (41)  
 V06b, V07b, V08b, V09b, V10b,  
 V11b, V12c, V13c, V18b, V19b,  
 V20b, V21b, V22b, V23b, V24b,  
 V25b, V27b, V28b, V29b, V31b,  
 V32b, V33b, V34b, V35b, V36b,  
 V37b, V38b, V39b, V40c, V41c,  
 V42c, V47b, V48b, V49b, V50b,  
 V51b, V52b, V53c, V54c, V55c,  
 V56c
- 【飛翔体観測機器】 (18)  
 W02b, W03b, W04b, W07b, W08b,  
 W09b, W10b, W11b, W12b, W16b,  
 W17b, W25b, W26b, W27b, W37b,  
 W38b, W39b, W42c

【PDL】

【最新情報コーナー】

<会場 P2>

- 【太陽】 (9)  
 M10b, M11b, M12b, M22b, M23b,  
 M24b, M25b, M26c, M27c
- 【恒星】 (30)  
 N10b, N11b, N12b, N13b, N14b,  
 N15b, N16c, N17c, N21b, N22b,  
 N23b, N30b, N31b, N32c, N33c,  
 N34c, N45c, N46c, N57c, N58c,  
 N59c, N69b, N70b, N71b, N72b,  
 N73b, N84c, N85c, N86c, N87c

<会場 P3>

- 【銀河】 (22)  
 R02b, R03b, R04b, R05b, R06b,  
 R07b, R08b, R09b, R10b, R11b,  
 R12b, R13b, R58b, R59b, R60b,  
 R61c, R62c, R63c, R64c, R65c,  
 R66c, R67c
- 【銀河団】 (6)  
 T06b, T07b, T08b, T18b, T19b  
 T20b
- 【宇宙論】 (7)  
 U08b, U09b, U10b, U11b, U12b,  
 U13b, U21c

<会場 P4>

- 【天体力学】 (2)  
 K04b, K05b
- 【情報処理】 (5)  
 X03b, X04b, X05b, X06b, X07c,
- 【天文教育・その他】 (14)  
 Y05b, Y06b, Y07b, Y08b, Y09b,  
 Y10b, Y11c, Y12c, Y13c, Y14c,  
 Y15c, Y16c, Y17c, Y18c

【ジュニアセッション】 (14)

## A. 光赤外の将来計画とサイエンス (B会場) 光学天文連絡会後援

3 / 26 (水)	3 / 26 (水)
09 : 00 A01a これまでの経過報告と本企画セッションの趣旨説明 高見英樹 (国立天文台ハワイ)	11 : 00 A12b 近赤外背景輻射の揺らぎから深宇宙銀河を探る 長島雅裕 (国立天文台)
09 : 09 A02a 次世代地上大型望遠鏡計画・海外の動向とまとめ 本原顕太郎 (東大理)	11 : 03 A13b 第一世代星からの分子輝線 水澤広美 (新潟大自然)
09 : 24 A03a 海外の大型光赤外スペース望遠鏡計画の現状と可能性 小林尚人 (国立天文台ハワイ)	13 : 00 A14a 星形成研究の展開 犬塚修一郎 (京大理)
09 : 39 A04a Off-axis Telescope Concepts for Future High Dynamic Range Astronomy Tokunaga, Alan (Institute for Astronomy, University of Hawaii)	13 : 15 A15a 次世代の恒星研究について 斉尾英行 (東北大理)
09 : 51 A05a JASMINE (近赤外線高精度位置天文観測衛星) 計画について 郷田直輝 (国立天文台)	13 : 30 A16a 次期光学赤外線望遠鏡による局所宇宙の解明 千葉柁司 (国立天文台)
10 : 06 A06a 次世代赤外線天文衛星計画 SPICA 中川貴雄 (宇宙研)	13 : 45 A17a 銀河、銀河団研究の将来 太田耕司 (京大理)
10 : 21 A07a JTPF : 太陽系外地球型惑星探査計画 田村元秀 (国立天文台)	14 : 00 A18a 活動的銀河中心核の「なぜ」に迫る 和田桂一 (国立天文台)
10 : 36 A08a 太陽系惑星科学専用望遠鏡計画とそのサイエンス 岡野章一 (東北大理)	14 : 15 A19a 宇宙論：残された課題 杉山直 (国立天文台)
10 : 48 A09b 東アジア 2.5m 望遠鏡の概要とセグメント鏡の検討 栗田光樹夫 (名大理)	14 : 30 A20a 将来計画に向けての次期サイエンス (その他) 戎崎俊一 (理化学研)
10 : 51 A10b SMILE 計画：南天における長基線光干渉計推進プロジェクト 吉澤正則 (国立天文台)	14 : 45 A21a 光赤外将来計画の策定について 家正則 (国立天文台)
10 : 57 A11b ASTRO-F 搭載近中間赤外カメラによる銀河サーベイとその将来性 松原英雄 (宇宙研)	A22c JASMINE における高精度位置決定について 矢野太平 (理化学研)
	A23c JASMINE シミュレーターの開発 II 山田良透 (京大理)

## K. 天体力学 (F会場)

## L. 太陽系 (F会場)

3 / 24 (月)	3 / 24 (月)
14 : 36 <b>K01a</b> 日本の深宇宙探査機の新たな軌道決定に向けて 吉川 真 (宇宙研)	10 : 00 <b>L01a</b> 火星低緯度氷晶雲帯の盛衰と大気波動 中串孝志 (京大理)
14 : 48 <b>K02a</b> Stellar Interactions in Globular Clusters 山田志真子 (北大理)	10 : 12 <b>L02a</b> X線観測衛星チャンドラによる土星システムのかに星雲通過の観測 常深 博 (阪大理)
15 : 00 <b>K03a</b> スケール変換による効率的な軌道シミュレーション 福島登志夫 (国立天文台)	10 : 24 <b>L03b</b> 火星 MOLA 積雪量観測とバイキング大気圧変動曲線の比較 鳴海泰典 (九州東海大工)
15 : 12 <b>K04b</b> 一階の陽型対称線形多段法 山本一登 (総研大)	10 : 24 <b>L04b</b> シンクロトロン電波放射のスペクトル観測による木星内部磁気圏の探査 三澤浩昭 (東北大理)
15 : 12 <b>K05b</b> 海王星と2 : 3平均運動共鳴にある小惑星の軌道 中井 宏 (国立天文台)	10 : 24 <b>L05b</b> 土星の衛星テティスによる恒星の掩蔽の観測 早水 勉 (せんだい宇宙館)
	10 : 36 <b>L06a</b> 小惑星の非主軸回転検出の試み：カリン族小惑星の変光曲線 Dermawan Budi (東大理)
	10 : 48 <b>L07a</b> 不変面付近における太陽系外縁部の探査 木下大輔 (総研大)
	11 : 00 <b>L08a</b> Lバンド高分散分光観測による池谷・張彗星におけるメタンおよびエタンの検出 河北秀世 (県立ぐんま天文台)
	11 : 12 <b>L09a</b> 彗星塵からのナトリウム原子放出メカニズム：池谷・張彗星 (153P) の場合 渡部潤一 (国立天文台)
	11 : 24 <b>L10a</b> 彗星塵からのナトリウム原子放出メカニズム：Hale-Bopp 彗星の場合 古莊玲子 (国立天文台)
	11 : 36 <b>L11b</b> ぐんま天文台 65cm 望遠鏡による彗星の可視分光サーベイ (I) 浜根寿彦 (県立ぐんま天文台)

3 / 24 (月)	
11:36	<p><b>L12b</b> 彗星の崩壊消失現象に伴うコマ形状の特徴について 宮地晃平 (国立天文台)</p> <p><b>L13b</b> 黄道光輻射 10 <math>\mu</math>m バンドフィーチャの黄緯依存性 大坪 貴文 (国立天文台)</p> <p><b>L14a</b> 流星痕同時観測キャンペーンの5年間の成果 戸田雅之 (日本流星研究会)</p> <p><b>L15a</b> 流星痕同時観測キャンペーンー2002年しし座流星群 藤田充宏 (東北大理)</p> <p><b>L16b</b> 2002年しし座流星群における暗い流星分布の測定 小浜光洋 (理研)</p> <p><b>L17b</b> 2001-2002年しし座流星群の高感度カメラによる計数観測 竹田育弘 (明治大理工)</p> <p><b>L18b</b> 2002年しし座流星群、4公転トレイルのピーク時刻について 泉 潔 (日本流星研究会)</p> <p><b>L19b</b> 2002年ふたご座流星群による流星痕観測の成果と、しし座流星群による流星痕観測との方法の差異 比嘉義裕 (日本流星研究会)</p> <p><b>L20b</b> 特異小惑星 2001TX16 のライトカーブ観測 宮坂正大 (東京都庁)</p> <p><b>L21c</b> デジタルビデオカメラを使った惑星の撮像観測 浅田 正 (九国大経済)</p> <p><b>L22c</b> 移動天体存在尤度分布におけるフレーム数の影響 板垣和幸 (北見工大)</p>
	<p><b>L23c</b> 流星エコー継続時間解析による2001年、2002年のしし座流星群 大西浩次 (長野高専)</p> <p><b>L24c</b> ビームアンテナ HRO における2002年しし座流星群の流量モニター 大西浩次 (長野高専)</p> <p><b>L25c</b> 2001年11月19日しし座流星群メインピーク前後で見られた突出的な流星出現について 高橋 淳 (茨城自然博)</p> <p><b>L26c</b> 2001年のしし座流星群の放射点の決定 鳥居研一 (理研)</p> <p><b>L27c</b> Separation of the Leonids Radiants in 2001 柳沢俊史 (航空宇宙技術研)</p>

## M. 太陽 (B会場)

3 / 24 (月)		3 / 24 (月)	
10:00	<b>M01a</b> 1.2世紀間の太陽風資料から得られたフレア・黒点・CHの配置則 斎藤尚生 (東北大・OB)	11:48	<b>M12b</b> 光球における微細磁束管の振る舞いとコロナ加熱の関係 勝川行雄 (東大理)
10:12	<b>M02a</b> 太陽活動1サイクルにわたる黒点暗部振動周波数の安定性 柴崎清登 (国立天文台野辺山)	14:00	<b>M13a</b> 偏光観測における磁場の方位角の180度不定性に関する考察 桜井 隆 (国立天文台)
10:24	<b>M03a</b> Restoration of dirty maps observed with Nobeyama Radioheliograph Maimaiti, Reziwan (北見工大)	14:12	<b>M14a</b> 活動領域の'twist'と'writhe'の長周期変化 萩野正興 (明星大情報)
10:36	<b>M04a</b> TONデータによる太陽彩層内の音波反射層の検出 関井 隆 (国立天文台)	14:24	<b>M15a</b> 磁気ヘリシティ反転層における非線形不安定性とフレア発生機構 草野完也 (広島大先端物質科学)
10:48	<b>M05a</b> pモード周波数を用いた太陽半径の測定と音速インバージョンへの影響 高田将郎 (東大理)	14:36	<b>M16a</b> 磁気ヘリシティ入射とコロナ活動の相関に関する統計的解析 真栄城朝弘 (広島大先端)
11:00	<b>M06a</b> H $\alpha$ で観測された太陽彩層の微細構造について 神尾 精 (京大理)	14:48	<b>M17a</b> 磁気浮上領域における光球面磁場の強度とfilling factorの時間発展 久保雅仁 (東大理)
11:12	<b>M07a</b> Characteristics of blinkers and brightenings in EUV and H $\alpha$ observations Brooks, D. H. (京大理)	15:00	<b>M18a</b> 太陽対流層と光球を貫く縦磁場の3次元MHDシミュレーション 野澤 恵 (茨城大理)
11:24	<b>M08a</b> 浮上磁場による磁気再結合に基づく彩層蒸発ジェットモデル(II):彩層蒸発ジェットとリコネクションジェットとのエネルギーの関係について 宮腰剛広 (総研大)	15:12	<b>M19a</b> CIP法を用いた太陽浮上磁場シミュレーション 高橋邦生 (茨城大理)
11:36	<b>M09a</b> CaIIK線スペクトルによるコロナX線輝点下の彩層診断 I. 渡邊鉄哉 (国立天文台)	15:24	<b>M20a</b> Injection of magnetic energy and magnetic helicity into the solar atmosphere by an emerging magnetic flux tube 真柄哲也 (モンタナ州立大)
11:48	<b>M10b</b> Modeling of Solar Soft X-ray Flux Variations 石井貴子 (京大理)	15:36	<b>M21a</b> 浮上磁場の3次元MHDシミュレーション:対流と磁場の相互作用 磯部洋明 (京大理)
11:48	<b>M11b</b> Study of chromospheric macrospicules in coronal holes 山内洋平 (NASA/MSFC/NRC)		

<p>3 / 24 (月)</p> <p>15 : 48 <b>M22b</b> 乱流磁気リコネクションの磁気流体シミュレーション 横山央明 (国立天文台)</p> <p>15 : 48 <b>M23b</b> フレアアラートの配信システム 飯塚康至 (国立天文台)</p> <p>15 : 48 <b>M24b</b> プロトンフレアの最大X線フラックスと継続時間の関係 久保勇樹 (通信総研)</p> <p>16 : 00 <b>M25b</b> 超高速度ビデオカメラによる太陽スペクトル撮像の試み (II) 當村 一朗 (大阪府立高専)</p> <p><b>M26c</b> 太陽周期とフレアとデルタ型黒点の長周期的な関係 山崎百合子 (国立天文台)</p> <p><b>M27c</b> フィラメント放出に伴う Magnetic cloud 磁場構造の太陽風中での変化 浅野芳洋 (京大附属天文台)</p>	<p>3 / 25 (火)</p> <p>10 : 30 <b>M33a</b> リコネクションジェットの内外部衝撃波と粒子加速の可能性 田沼俊一 (京大理)</p> <p>10 : 42 <b>M34a</b> Gradual Flare における H<math>\alpha</math> インパクトポラリゼーションの検出 花岡庸一郎 (国立天文台)</p> <p>10 : 54 <b>M35a</b> フレアループにおける高エネルギー粒子の振舞 中島 弘</p> <p>11 : 06 <b>M36a</b> RHESSI/NoRH データに基づく花岡一西尾型 X1.5 フレアの解析 堀 久仁子 (CRL 平磯太陽観測センター)</p> <p>11 : 18 <b>M37a</b> 硬 X 線 (RHESS) と <math>\mu</math>波 (NoRH) による太陽フレアの撮像観測 増田 智 (名大 STE 研)</p>
<p>3 / 25 (火)</p> <p>09 : 30 <b>M28a</b> ホモロガス・フレアと磁気リコネクション 高崎宏之 (京大理)</p> <p>09 : 42 <b>M29a</b> フレアループ上空の下降流と、エネルギー解放 浅井 歩 (京大理)</p> <p>09 : 54 <b>M30a</b> 磁気リコネクションに伴う SLOW SHOCK の証拠としての Y 字型噴出現象の発見 塩田大幸 (京大理)</p> <p>10 : 06 <b>M31a</b> 10 数例の reconnection inflow の発見 成影典之 (京大理)</p> <p>10 : 18 <b>M32a</b> フレアの基礎物理 I : 磁場拡散領域は存在するか? 平山 淳 (明星大情報)</p>	<p>13 : 30 <b>M38a</b> プロトンフレアでの陽子および相対論的電子の加速 大木健一郎 (国立天文台)</p> <p>13 : 42 <b>M39a</b> Modeling of an energetic particle event with an evolutionary shock velocity and diffusion coefficient 田 光江 (通信総研)</p> <p>13 : 54 <b>M40a</b> CME の初期加速度とその後の惑星間空間での伝搬速度について 中川朋子 (東北工業大)</p>



## N. 恒星 (A 会場)

3 / 24 (月)		3 / 24 (月)	
10 : 00	<b>N01a</b> HETE 2 衛星の観測運用状況 — 2002 年～2003 年初頭 河合誠之 (東工大理)	11 : 48	<b>N12b</b> Nucleosynthesis in baryon-rich outflows associated with gamma-ray bursts 井上 進 (MPA)
10 : 12	<b>N02a</b> GRB021004 の HETE2 による観測 鈴木素子 (東工大理)	12 : 00	<b>N13b</b> すばる望遠鏡を用いたかに星雲からの GeV ガンマ線観測 浅原明広 (京大理)
10 : 24	<b>N03a</b> ガンマ線バースト残光の早期観測 鳥居研一 (理研)	12 : 00	<b>N14b</b> GeV ガンマ線で検出されたマイクロクエーサー LS 5039 の放射機構 山岡和貴 (理化学研)
10 : 36	<b>N04a</b> GRB021004 早期残光の京大屋上での観測 — 光度一定期間の発見 — 植村 誠 (京大理)	12 : 00	<b>N15b</b> ブラックホール連星系の可視光短時間変動 2-X 線との強い相関の発見 — 植村 誠 (京大理)
10 : 48	<b>N05a</b> GRB021004 早期残光の木曾観測所での観測 — 多色同時測光による光度変化の追 — 三戸洋之 (東大理)	<b>N16c</b> GRB021211 の可視光フォローアップ観測 衣笠健三 (ぐんま天文台)	
11 : 00	<b>N06a</b> GRB021004 早期残光の美星天文台での観測 — 短時間変動の検出 — 川端哲也 (美星天文台)	<b>N17c</b> $\gamma$ 線パルサーにおける 2 次元 Outer-Gap モデル (I) 高田順平 (山形大理工)	
11 : 12	<b>N07a</b> GRB021004 早期残光の光度曲線の理論的解釈 高木 亮 (東工大理工)		
11 : 24	<b>N08a</b> Cosmological X-ray Flashes in the Off-Axis Jet Model 山崎 了 (京大理)	14 : 00	<b>N18a</b> すばる望遠鏡による矮新星 IP Peg の降着円盤速度場の観測 石岡涼子 (京大理)
11 : 36	<b>N09a</b> Explosive Nucleosynthesis Associated with Formation of Jet-induced GRBs in Massive Stars 長滝重博 (東大理)	14 : 12	<b>N19a</b> ER UMa 型矮新星スーパーハンプにおける位相交代現象 加藤太一 (京大理)
11 : 48	<b>N10b</b> GRB020813 木曾観測所による多色測光観測 浦田裕次 (理研 / 東工大理)	14 : 24	<b>N20a</b> 6 3 日のスーパーサイクルを持つ SU UMa 型矮新星 Var73 Dra 野上大作 (京大理)
11 : 48	<b>N11b</b> 回転星の崩壊によるガンマ線バーストの一般相対論的 MHD シミュレーション 2 水野陽介 (京大理)	14 : 36	<b>N21b</b> SU UMa 型矮新星 SW UMa の 2002 年 Superoutburst 時における振舞いについて 田辺健茲 (岡山理科大総合情報)

3 / 24 (月)		3 / 25 (火)	
14 : 36	<b>N22b</b> 矮新星 V1208 Tau (=RX J0459.7+1926) のアウトバースト 石岡涼子 (京大理)		<b>N33c</b> 近接連星系における伴星の表面層のガスの運動 II 岡 和孝 (神戸大自然)
14 : 36	<b>N23b</b> 2002 年 M110 新星の光度変化 山岡 均 (九大理)		<b>N34c</b> マイクロクェーサーの光度曲線解析 小澤朋子 (大阪教育大教育)
14 : 48	<b>N24a</b> 矮新星 SU UMa 型の爆発機構: 伴星からの質量流入増加の証拠はあるか? 尾崎洋二 (長崎大教育)	09 : 30	<b>N35a</b> ブラックホール近傍の円盤構造: モデルと数値実験結果の比較 町田真美 (千葉大自然)
15 : 00	<b>N25a</b> 回帰新星 CI Aql の光度曲線解析から判明した超軟 X 線源 RX J0513.9-6951 の high/low state の遷移メカニズム 蜂巢 泉 (東大総合文化)	09 : 42	<b>N36a</b> ジェットの発生と降着円盤の内縁 根来 均 (理化学研)
15 : 12	<b>N26a</b> 光学的に厚い降着円盤から薄い円盤への状態遷移 渡会兼也 (京大理)	09 : 54	<b>N37a</b> 超高密度星プラズマにおける共鳴熱核反応率 野澤 智 (城西女子短大)
15 : 24	<b>N27a</b> Be/X 線連星系における中性子星への降着流 早崎公威 (北大理)	10 : 06	<b>N38a</b> Photon-Trapping を考慮した超臨界降着流の輻射スペクトル 大須賀 健 (京大基研)
15 : 36	<b>N28a</b> 3D SPH Simulations of Viscous Disk Evolution around Be Stars 岡崎教男 (北海学園大工)	10 : 18	<b>N39a</b> 宇宙レーザー干渉計型重力波検出器における系内連星系からの重力波の Noise 的側面 端山和太 (東大理)
15 : 48	<b>N29a</b> 磁気回転不安定の非線形飽和機構の解明 I. ガス圧力の影響 佐野孝好 (Cambridge, DAMTP)	10 : 30	<b>N40a</b> 光電離による X 線レーザーの可能性 杉山慎也 (阪大レーザー研)
16 : 00	<b>N30b</b> 矮新星降着円盤における磁気回転不安定 佐野孝好 (Cambridge, DAMTP)	10 : 42	<b>N41a</b> Superburst に対するシェルフラッシュモデルの可能性 黒水玲子 (九大理)
16 : 00	<b>N31b</b> 近接連星系における降着円盤の 3 次元輻射流体数値計算 佐藤潤一 (東北大工)	10 : 54	<b>N42a</b> Chandra 衛星による特異な X 線パルサー 1E1841-045 の観測 森井幹雄 (東工大理)
	<b>N32c</b> 接触連星系 YY CMi の測光観測と解析 中村泰久 (福島大教育)	11 : 06	<b>N43a</b> Chandra 衛星 HETG による X 線連星 GX301-2 からの蛍光鉄輝線コンプトン散乱ハンプの検出 渡辺 伸 (宇宙研)
		11 : 18	<b>N44a</b> Chandra および XMM-Newton による近傍銀河の大光度 X 線天体の観測 牧島一夫 (東大理)

3 / 25 (火)	3 / 26 (水)
<p>N45c Chandra 衛星を用いた早期型星の X 線放射機構の研究 高野晴子 (立教大理)</p>	<p>N57c 超新星のフォローアップの推移と現状 橋本哲也 (九大理)</p>
<p>N46c パラメトリック共鳴による非軸対称捕獲 g-モード振動の励起 加藤正二 (奈良産業大情報)</p>	<p>N58c Theoretical Study of the Sensitivity of Heavy Element Production to Nuclear and Neutrino Processes 佐々木孝浩 (東大理)</p>
<p>13 : 30 N47a 極超新星の光度曲線の二成分モデル 前田啓一 (東大理)</p>	<p>N59c 相対論的状態方程式と原始中性子星の冷却 鈴木英之 (東理大理工)</p>
<p>13 : 42 N48a 超新星衝撃波による星の外層の加速 中村 航 (東大理)</p>	<p>09 : 00 N60a 超新星背景ニュートリノとその観測からの示唆 安藤真一郎 (東大理)</p>
<p>13 : 54 N49a Ia 型超新星の母銀河内における位置と最大光度の相関 内藤博之 (九大理)</p>	<p>09 : 12 N61a ニュートリノ輸送流体計算による重力崩壊型超新星爆発シミュレーション 住吉光介 (沼津高専)</p>
<p>14 : 06 N50a 初期化学組成の異なる Ia 型超新星爆発での元素合成 大久保琢也 (東大理)</p>	<p>09 : 24 N62a 超新星における衝撃波伝搬とニュートリノ振動 高橋慶太郎 (東大理)</p>
<p>14 : 18 N51a ONeMg 超新星爆発における r 過程元素合成と宇宙年代学 和南城伸也 (上智大理工)</p>	<p>09 : 36 N63a 相対論星の r-mode 吉田至順 (Instituto Superior Tecnico, Technical University of Lisbon)</p>
<p>14 : 30 N52a The Formation and Nova Explosions of ONeMg White Dwarfs in Close Binary Systems 勝田 豊 (北大理)</p>	<p>09 : 48 N64a Weakly Magnetized Relativistic Stars 井岡邦仁 (阪大理)</p>
<p>14 : 42 N53a The p-Process in Core Collapse Supernova Explosions 岩本信之 (国立天文台)</p>	<p>10 : 00 N65a OAO HIDES による金属欠乏星の組成解析 (I) : 大気パラメーターの決定 齋藤雄二 (東海大理)</p>
<p>14 : 54 N54a 回転する中性子星からの neutrino-driven wind での r-過程元素合成 山崎達哉 (阪大レーザー研)</p>	<p>10 : 12 N66a OAO HIDES による金属欠乏星の組成解析 (II) : 硫黄組成 比田井昌英 (東海大総教セ)</p>
<p>15 : 06 N55a r 過程元素の起源 2 site model の可能性 大槻かおり (Notre Dame 大)</p>	<p>10 : 24 N67a 超金属欠乏星 HE0107-5240 は primordial star か? 須田拓馬 (北大理)</p>
<p>15 : 18 N56a Nucleosynthesis of Light Elements and r-Process Elements through the <math>\nu</math>-Process in Supernova Explosion 寺澤真理子 (国立天文台)</p>	

N. 恒星

3 / 26 (水)	3 / 26 (水)
10 : 36 N68a yellow hypergiants の 0.9 - 2.4 $\mu m$ スペクトルアトラス 山室智康 (ジェネシア)	13 : 48 N78a 相対 VLBI 観測によるミラ型変光星の年周視差測定 III 倉山智春 (東大理/国立天文台)
10 : 48 N69b O型星および Wolf-Rayet 星の 0.9 - 2.4 $\mu m$ スペクトルアトラス 西巻祐一郎 (東大理)	14 : 00 N79a IRAS 対応天体を持たないメーザー源について 出口修至 (国立天文台野辺山)
10 : 48 N70b MOA データによる長周期変光星の周期光度関係—複雑構造の研究— 野田祥代 (国立天文台)	14 : 12 N80a 球状星団の赤色変光星 松永典之 (東大理)
10 : 48 N71b 極大光度期の R CrB における偏光変動: タンジェンシャルな方向へのダスト雲塊放出 川端弘治 (国立天文台)	14 : 24 N81a 近赤外等級の輻射補正 中田好一 (東大理)
11 : 00 N72b Dust Disk and Multipolar Outflow in Galactic Halo PN H4-1 田実見人 (国立天文台ハワイ)	14 : 36 N82a AGB 星周囲のダストの結晶化について 中本泰史 (筑波大計物研)
11 : 00 N73b Highly Resolved Spatio-Kinematic Study on Planetary Nebula, NGC 6572 大塚雅昭 (東北大理)	14 : 48 N83a 水素終端したダイヤモンドグレインの表面構造 木村誠二 (電通大)
.....	N84c 惑星を持つ恒星の金属量 part2 大久保美智子 (大阪教育大)
13 : 00 N74a 惑星系を持つ星の金属量はなぜ高いか 有本信雄 (国立天文台)	N85c HDS とヨードセル装置による太陽型振動検出の試み: beta Aql の試験観測 神戸栄治 (防衛大地球)
13 : 12 N75a 褐色矮星の大気構造とその観測特性 XI. 色一等級図上での L 型から T 型矮星への遷移 辻 隆 (東大理)	N86c The SMC's Stellar Orchestra 板 由房 (東大理)
13 : 24 N76a すばるで求めた L 及び T 型矮星のスペクトルと 有効温度 中島 紀 (国立天文台)	N87c 赤色変光星の脈動機構 竹内 峯 (東北大)
13 : 36 N77a シリケート炭素星の紫外域スペクトル 泉浦秀行 (国立天文台岡山)	

## P. 星・惑星形成 (D 会場)

3 / 25 (火)		3 / 25 (火)	
13 : 30	<b>P01a</b> 磁気雲の分裂による連星系・多重星の形成過程：磁気拡散の効果について 中村文隆 (新潟大教育人間科学)	15 : 06	<b>P12b</b> 孤立した T Tauri 型星 V4046 Sgr における結晶質シリケートの検出 本田充彦 (東大理)
13 : 42	<b>P02a</b> ガス降着による連星の成長 越智康浩 (名大理)	15 : 06	<b>P13b</b> おうし座一ぎょしゃ座 Li-rich star 方向の分子雲 早川貴敬 (国立天文台野辺山)
13 : 54	<b>P03a</b> 分子雲コアからの連星形成過程とアウトフロー 町田正博 (北大理/国立天文台)	15 : 06	<b>P14b</b> 分子雲圧縮層分裂片の質量分布 II 梅川通久 (千葉大普遍教育)
14 : 06	<b>P04a</b> 周連星円盤の長時間進化 今枝佑輔 (国立天文台)	15 : 18	<b>P15b</b> 大質量星形成領域 W3(OH)の水メーザー固有運動計測 笹田大二 (鹿児島大理)
14 : 18	<b>P05a</b> 原始性ジェットにおける質量降着率と質量放出率の磁場依存性の2.5次元磁気流体シミュレーションによる研究 上原一浩 (京大理)	15 : 18	<b>P16b</b> 大質量星形成領域 G45.12+0.13 における[NeIII]輝線の速度分解分光観測 岡本美子 (北里大)
14 : 30	<b>P06a</b> すばる望遠鏡 HDS による HH46 ジェットの速度場の観測 西川貴行 (東京理科大)	15 : 18	<b>P17b</b> 前主系列星からの X線放射プラズマの2温度性の確立とその起源 辻本匡弘 (京大理)
14 : 42	<b>P07a</b> コンピューターシミュレーションによる小質量星形成効率の推定 中野武宣		<b>P18c</b> へびつかい座 $\rho$ 分子雲の小質量前主系列星からの X線フレアの系統的研究 今西健介 (京大理)
	<b>P08c</b> 牡牛座の Class I 天体の Kバンド分光観測 石井未来 (国立天文台)		<b>P19c</b> $\rho$ -Oph 分子雲の XMM-Newton 衛星による観測 小澤秀樹 (CEA-Saclay, France)
14 : 54	<b>P09b</b> すばる COMICS によるおうし座原始星の中間赤外撮像観測 齋藤正雄 (国立天文台)	.....	
14 : 54	<b>P10b</b> 低質量原始星のミリ波干渉計観測：星周エンベロープ内での原始惑星系円盤形成 横川創造 (総研大)	3 / 26 (水)	
14 : 54	<b>P11b</b> LkCa15 に付随する原始惑星系円盤での H <sub>2</sub> CO 輝線の干渉計観測 相川祐理 (神戸大理)	09 : 00	<b>P20a</b> 中質量前主系列星からの X線は本当に熱的か？ 濱口健二 (NASA/GSFC)
		09 : 12	<b>P21a</b> Chandra 衛星による大質量星形成領域 NGC 6334 の観測 江副祐一郎 (東大理)
		09 : 24	<b>P22a</b> りゅうこつ腕における巨大分子雲中の高密度分子ガス塊の分子輝線観測 米倉覚則 (大阪府大総合科学)

3 / 26 (水)	3 / 26 (水)
09:36 P23a NMAによる遠方大質量星形成領域の高密度分子雲コアの詳細観測3 齋藤弘雄 (国立天文台野辺山)	13:36 P33a 地球型惑星形成における原始惑星系円盤及び巨大ガス惑星の重力の影響 小南淳子 (東工大地惑)
09:48 P24a 大質量星形成領域の化学モデル 野村英子 (UMIST)	13:48 P34a カイパーベルト天体の軌道分布に残る恒星遭遇の跡 小林 浩 (東工大理)
10:00 P25a 重力収縮する星なしコアの分子組成進化:ダスト表面反応の効果 相川祐理 (神戸大理)	P35c 羊飼い衛星の逆襲 台坂 博 (東大理)
10:12 P26a 2次元輻射輸送計算に基づく原始星の構造及び進化段階の推定 中里 剛 (筑波大物理)	
10:24 P27a 衝撃波により誘発された星形成とclass 0天体のhigh accretion rate 本山一隆 (茨城大理)	
10:36 P28a すばる望遠鏡CIAOを用いた原始惑星系円盤の撮像サーベイ 林 正彦 (国立天文台)	
10:48 P29a Herbig Ae型星に付随するディスクの近赤外撮像観測 深川美里 (東大理)	
.....	
13:00 P30a 星周円盤からの17 $\mu$ m水素分子純回転遷移線の探査 酒向重行 (東大理)	
13:12 P31a 原始惑星系円盤内衝撃波によるコンドリュール形成:サイズ分布の下限値決定のメカニズム 三浦 均 (筑波大数物)	
13:24 P32a 原始惑星系円盤内における分子平均自由行程よりも大きい球のまわりの固体微粒子の運動 関谷 実 (九大理)	

## Q. 星間現象 (D会場)

3 / 24 (月)	3 / 24 (月)
10:00 Q01a X線観測による超新星残骸プラズマの電離状態の研究 川崎正寛 (宇宙研)	11:12 Q12b 銀河系中心 $l = 1.3^\circ$ 領域では何が起きているか? 長谷川哲夫 (国立天文台)
10:12 Q02a “TeV SNR” のシンクロトロンX線放射の詳細解析 内山泰伸 (東大理)	11:12 Q13b 巨大分子雲 M0.11 - 0.08 へのX線反射星雲モデルの適用 村上弘志 (宇宙研)
10:24 Q03a 外部電場中に注入される電子・陽電子対プラズマにおける静電波動 浅野勝晃 (阪大理)	11:24 Q14b <i>Chandra</i> による超新星残骸 30 Dor C からの非熱的X線の発見 馬場 彩 (京大理)
10:36 Q04a HD分子が有効に冷却媒体として働く初代天体の観測可能性 釜谷秀幸 (京大理)	11:24 Q15b 惑星状星雲 NGC6543 のファブリペロ-干渉計による輝線撮像観測 河合篤史 (京大理)
10:48 Q05b $Ly\alpha$ clouds が示す吸収線の線幅の起源 織田岳志 (京大理)	11:24 Q16b 遠赤外線気球望遠鏡 (FIRBE) を用いたカリーナ領域からの星間塵放射の観測 中村美穂 (東大総合文化)
10:48 Q06b 原始スーパーシェルにおける水素分子形成 南野公彦 (京大理)	11:36 Q17b IRTS/NIRS により検出した氷の吸収 田中昌宏 (国立天文台)
10:48 Q07b 再電離以前の原始銀河のスペクトルとその観測可能性 小林正和 (京大理)	Q18c 近傍渦巻銀河中心部 1 kpc の [C II]/CO ( $J = 1 - 0$ ) 輝線強度比 望月賢治 (東大理)
11:00 Q08b NGC7822 の $^{12}\text{CO}$ および $^{13}\text{CO}$ 観測 土橋一仁 (東京学芸大)	Q19c Mon OB1 North 分子雲内部構造の領域による違い 森野潤一 (国立天文台)
11:00 Q09b Digitized Sky Survey I を利用した暗黒星雲サーベイ 上原 隼 (東京学芸大)	Q20c Polytropic law と熱のくりこみ 森田一彦 (北海道薬科大薬学)
11:00 Q10b 「なんてん」による $^{12}\text{CO}$ 銀河面サーベイ III 水野 亮 (名大理)	14:00 Q21a 「なんてん」による銀河系中心領域の分子雲観測 福井康雄 (名大理)
11:12 Q11b 大局的3次元MHDシミュレーションに基づく銀河ダイナモ機構の考察 II 錦織弘充 (千葉大自然)	14:12 Q22a Absorption Line Survey of $\text{H}_3^+$ toward the Galactic Center Sources 後藤美和 (国立天文台ハワイ/ハワイ大学)

3 / 24 (月)	3 / 25 (火)
14 : 24   <b>Q23a</b> 野辺山 45m 鏡+マルチビーム受信機 BEARS による Sgr 腕の観測 杉本正宏 (東大理)	09 : 30   <b>Q31a</b> SIRIUS によるグロビュールの ディープサーベイ：柱密度プロファイ ルとそのモデルフィット 神鳥 亮 (総研大)
14 : 36   <b>Q24a</b> Nonlinear Hydromagnetic Wave Support of a Stratified Molecular Cloud 工藤哲洋 (Univ. of Western Ontario, Canada)	<b>Q32c</b> SIRIUS によるグロビュールの ディープサーベイ：近赤外減光量 マップの作成 神鳥 亮 (総研大)
14 : 48   <b>Q25a</b> 「なんてん」による Orion A, B 領域の $\text{HCO}^+(J=1-0)$ 広域観測 忠内可奈 (名大理)	09 : 42   <b>Q33a</b> BEARS Star-Formation Project : $\rho$ Oph 領域における $\text{H}^{13}\text{CO}^+(J=1-0)$ 観測 II 梅本智文 (国立天文台)
15 : 00   <b>Q26a</b> 可搬型 18cm サブミリ波望遠鏡 (POST18) による NGC6334 領域お よび M17 の $\text{Cl}^3\text{P}_1-^3\text{P}_0$ 輝線観測 岡 朋治 (東大理)	09 : 54   <b>Q34a</b> BEARS Star-Formation Project : MBM 26 の CO 観測 3 河村晶子 (宇宙研)
15 : 12   <b>Q27a</b> DR21 領域における中性炭素原子 田中邦彦 (東大理)	10 : 06   <b>Q35a</b> へびつかい座暗黒星雲における中性 炭素原子輝線の広域観測 亀谷和久 (東大理)
15 : 24   <b>Q28a</b> W3 領域における [Cl]、CO 輝線の詳 細観測 酒井 剛 (東大理)	10 : 18   <b>Q36a</b> Heiles Cloud 2 外縁部の分子形成領 域の詳細構造 (2) 阪本成一 (国立天文台)
15 : 36   <b>Q29a</b> 光解離領域の遠赤外分光観測—モデ ルの検証と [Cl] 158 $\mu\text{m}$ の起源— 岡田陽子 (東大理)	10 : 30   <b>Q37a</b> $\text{Cl}^3\text{P}_1-^3\text{P}_0$ 輝線によるおうし座 L1495 領域の広域観測 久保井信行 (東大理)
15 : 48   <b>Q30a</b> 星間塵合成実験、分子と塵 和田節子 (電通大)	10 : 42   <b>Q38a</b> Draco Nebula における中性炭素原子 輝線のマッピング観測 林田将明 (東大理)
	10 : 54   <b>Q39a</b> 高銀緯領域における大規模アーク構 造の CO 輝線観測 山本宏昭 (名大理)
	11 : 06   <b>Q40a</b> 銀河系の円盤外縁部における分子雲 形成 中川真規 (名大理)
	11 : 18   <b>Q41a</b> VERA プロジェクトの現状と試験観 測結果 小林秀行 (国立天文台)



## R. 銀河 (C会場)

3 / 24 (月)		3 / 24 (月)	
10:00	<b>R01a</b> 赤方偏移率-後退速度関係の再検討 (その8A 宇宙空間光静止系に対する太陽の速度計算) 阿武靖彦	10:48	<b>R12b</b> DLA Host-galaxy の起源と進化 大越克也 (東大理)
10:12	<b>R02b</b> 赤方偏移率-後退速度関係の再検討 (その8B 宇宙空間光静止系に対する天体の速度計算) 阿武靖彦	10:48	<b>R13b</b> Dark Matter Substructure は、どんな重カレンズ効果を引き起こすか? 米原厚憲 (筑波大計算物理)
10:12	<b>R03b</b> 球状星団系の形成と進化 坂本 強 (総研大)	11:00	<b>R14a</b> MAGNUMプロジェクト (1). 現状報告 小林行泰 (国立天文台)
10:12	<b>R04b</b> Color Gradients in E/S0 Galaxies in A Nearby Rich Cluster 田村直之 (ダーラム大物理)	11:12	<b>R15a</b> MAGNUMプロジェクト (2). 提唱する距離決定法の適用範囲とその将来展望 吉井 謙 (東大理)
10:24	<b>R05b</b> SDSS のデータを用いた新しいテクスチャパラメータによる銀河分類 山内千里 (名大理)	11:24	<b>R16a</b> MAGNUMプロジェクト (3). NGC 4151 長期間の変光データとの比較 峰崎岳夫 (東大理)
10:24	<b>R06b</b> 数値銀河カタログ ( $\nu$ GC) 銀河の角度相関関数 矢作日出樹 (国立天文台)	11:36	<b>R17a</b> MAGNUMプロジェクト (4). 近傍1型活動銀河核における観測結果現状 菅沼正洋 (東大理)
10:24	<b>R07b</b> Problems in SPH simulations of galaxy formation 岡本 崇 (Physics Dept. Durham Univ.)	11:48	<b>R18a</b> MAGNUMプロジェクト (5). SN2002ap Nebular Phase 富田浩行 (東大理)
10:36	<b>R08b</b> Clustering analysis of Lyman Break Galaxies at $z \sim 5$ 安東正隆 (京大理)	14:00	<b>R19a</b> すばる望遠鏡観測所大プロジェクト "Subaru/XMM Deep Survey" 関口和寛 (国立天文台ハワイ)
10:36	<b>R09b</b> Lyman-Break 銀河は巨大ブラックホールを持つか? 細川隆史 (京大基研)	14:12	<b>R20a</b> SSA22 $z=3.1$ 巨大銀河形成領域の発見 I. 大構造とバイアスパラメータ 林野友紀 (東北大理)
10:36	<b>R10b</b> SCUBA 天体の分類は楕円銀河の進化の経路か? 小野寺仁人 (東大理)	14:24	<b>R21a</b> SSA22 $z=3.1$ 巨大銀河形成領域の発見 II. 原始銀河候補の発見 松田有一 (国立天文台/東北大理)
10:48	<b>R11b</b> A formulation of the Confusion Problems in the Source Count Statistics 竹内 努 (国立天文台)	14:36	<b>R22a</b> SSA22 $z=3.1$ 巨大銀河形成領域の発見 III. $Ly\alpha$ 銀河の統計的性質 田村 一 (東北大理)

<p>3 / 24 (月)</p> <p>14 : 48 <b>R23a</b> Lyman Break Galaxies at <math>z \sim 5</math> : Their Evolution 岩田 生 (京大理)</p> <p>15 : 00 <b>R24a</b> 補償光学を用いた Subaru Deep Field の近赤外高分解深撮像 美濃和陽典 (東大理)</p> <p>15 : 12 <b>R25a</b> OHS による <math>2.0 &lt; z &lt; 2.6</math> Radio Galaxy の近赤外分光 II 岩室史英 (京大理)</p> <p>15 : 24 <b>R26a</b> Quasar formation &amp; large-scale bias 榎 基宏 (阪大理 / 国立天文台)</p> <p>15 : 36 <b>R27a</b> Heavy-Element Absorption Line Systems in the SDSS QSO Spectra 稲田直久 (東大理)</p> <p>15 : 48 <b>R28a</b> Astrometric Microlensing of Finite-size Lenses 高橋芳太 (京大理)</p>	<p>3 / 25 (火)</p> <p>10 : 42 <b>R35a</b> 球状星団 <math>\omega</math> Centauri の起源となる矮小銀河の動力学進化 水谷有宏 (総研大)</p> <p>10 : 54 <b>R36a</b> The Phase Space Distribution of High-Eccentricity Galactic Halo Stars: A Signature of Satellite Accretion? 河田大介 (Swinburne 大)</p> <p>11 : 06 <b>R37a</b> Angular momentum content of dwarf galaxies CHAN, SZETING (東大理)</p> <p>11 : 18 <b>R38a</b> 矮小銀河形成における紫外背景放射場の役割 II 須佐 元 (立教大理)</p> <p>13 : 30 <b>R39a</b> 分子冷却を取り入れた高解像度銀河形成シミュレーション 斎藤貴之 (北大理)</p>
<p>3 / 25 (火)</p> <p>09 : 30 <b>R29a</b> 種族 III 星の金属汚染 茂山俊和 (東大理)</p> <p>09 : 42 <b>R30a</b> 金属欠乏星からわかる銀河進化初期の元素合成 石丸友里 (お茶大理)</p> <p>09 : 54 <b>R31a</b> 超新星残骸の非一様混合による金属欠乏星の起源 中里直人 (東大理)</p> <p>10 : 06 <b>R32a</b> 銀河形成と重元素の非一様混合過程 森 正夫 (専修大法)</p> <p>10 : 18 <b>R33a</b> 太陽近傍 halo 星の色等級図と銀河系 halo の形成、進化 伊吹山秋彦 (東大理 / 国立天文台)</p> <p>10 : 30 <b>R34a</b> 矮小銀河における断続的星形成とアバンドランスパターンの進化 生田ちさと (国立天文台)</p>	<p>13 : 42 <b>R40a</b> 分光観測とモデルから探る近傍楕円銀河の星生成史 山田善彦 (東大理 / 国立天文台)</p> <p>13 : 54 <b>R41a</b> The Morphology-Density Relation in the SDSS 後藤友嗣 (東大理 / CMU)</p> <p>14 : 06 <b>R42a</b> 銀河の形態進化と環境効果 岡本 崇 (Physics Dept. Durham Univ.)</p> <p>14 : 18 <b>R43a</b> Poststarburst 銀河の進化と銀河団銀河 - IMF が変化する場合 塩谷泰広 (東北大理)</p> <p>14 : 30 <b>R44a</b> 銀河の metallicity - dust/gas ratio 関係 : infall と starburst の影響 井上昭雄 (京大理)</p> <p>14 : 42 <b>R45a</b> 宇宙初期に存在するダスト I : ダストの形成・破壊とその存在量 野沢貴也 (北大理)</p>

3 / 25 (火)	3 / 26 (水)
14 : 54 <b>R46a</b> 大マゼラン雲で銀河 warp は励起できるか? 出田 誠 (東大理)	10 : 36 <b>R57a</b> 「なんてん」による小マゼラン銀河の <sup>12</sup> CO スペクトル観測 前田普教 (名大理)
15 : 06 <b>R47a</b> 球状星団中のブラックホール形成と星形成史の関係 川勝 望 (筑波大物理)	10 : 48 <b>R58b</b> 野辺山 45m 鏡による近傍銀河 HCN/ <sup>13</sup> CO サーベイ: 近傍銀河の高温・高密度分子ガス 松下聡樹 (Harvard-Smithsonian CfA)
15 : 18 <b>R48a</b> Massive black holes in star clusters Baumgardt, Holger (東大理)	10 : 48 <b>R59b</b> Molecular Clouds in the Multiple Spiral Galaxy NGC 6946 濤崎 智佳 (ぐんま天文台)
3 / 26 (水)	10 : 48 <b>R60b</b> 原始雲中の輻射場の進化と始原星の質量関数 大向一行 (国立天文台)
09 : 00 <b>R49a</b> Chandra 衛星による楕円銀河の X 線ガスの系統的解析 (2) 大戸彰三 (広島大理)	<b>R61c</b> 銀河系の定数 $R_0$ 、 $\Theta_0$ の推定 須田浩志 (東大理)
09 : 12 <b>R50a</b> Newton 衛星による X-ray faint な楕円銀河 IC1459 の観測 深沢泰司 (広島大理)	<b>R62c</b> 銀河系における分子ガス分布 中西裕之 (東大理)
09 : 24 <b>R51a</b> チャンドラ衛星によるスターバースト銀河 NGC2146 の観測研究 松本浩典 (京大理)	<b>R63c</b> Molecular Gas Observations of Recently Collided Galaxy Pairs: UGC 12914/5 (Taffy I) and UGC 813/6 (Taffy II) 伊王野大介 (U of Massachusetts/Smithsonian Astrophysical Observatory)
09 : 36 <b>R52a</b> Chandra 衛星の観測による NGC 1569 の時間変動の発見 平家和憲 (愛媛大理)	<b>R64c</b> 楕円銀河 NGC596 のディスク成分に腕構造か? 水野孝雄 (東京学芸大)
09 : 48 <b>R53a</b> スターバースト銀河 NGC253 からの高エネルギー放射 伊藤千枝 (茨城大理工)	<b>R65c</b> $\omega$ Centauri の星形成史と球状星団の形成シナリオ 辻本拓司 (国立天文台)
10 : 00 <b>R54a</b> 野辺山ミリ波干渉計による NGC 6240 の高温高密度分子ガス観測 中西康一郎 (国立天文台野辺山)	<b>R66c</b> MDGRAPE2 を用いた球状星団の銀河中心への沈降過程の N 体計算 松林達史 (東工大理)
10 : 12 <b>R55a</b> 大マゼラン雲の巨大分子雲の高分解能観測 水野範和 (名大理)	<b>R67c</b> 近傍孤立銀河周辺部の矮小銀河探索 西浦慎悟 (東大理)
10 : 24 <b>R56a</b> 「なんてん」による LMC の <sup>12</sup> CO 高感度観測 南谷哲宏 (名大理)	

## S. 活動銀河核 (E 会場)

3 / 24 (月)	3 / 24 (月)
10:00 S01a クエーサーの輻射の本質：バルマー不連続の発見 岸本 真 (エジンバラ大物理/王立天文台)	11:48 S12b Seyfert 1 型銀河 NGC 3516 の X 線スペクトルの長期変化 野上杏子 (日大理工/理研)
10:12 S02a すばる XMM ディープサーベイ：X 線源の可視分光観測の初期成果 秋山正幸 (国立天文台ハワイ)	11:48 S13b Chandra 衛星による M32 銀河の「活動的銀河核」の検出 寺島雄一 (宇宙研)
10:24 S03a Chandra 衛星による大光度赤外線銀河 IRAS 11119+3257 の X 線観測 穴吹直久 (東大理)	11:48 S14b Near-IR Colors of Hard X-ray Selected AGN/QSOs 渡辺ちさと (京大理)
10:36 S04a 活動銀河核の硬 X 線光度関数の決定 上田佳宏 (宇宙研)	14:00 S15a 3C380 電波ジェット運動 平松由紀子 (東大理)
10:48 S05a XMM-Newton 衛星による近傍のセイファート 2 型銀河 NGC6300 の観測 松本千穂 (オクラホマ大)	14:12 S16a 銀河中心ブラックホール Sgr A* のジェットの出現と核周円盤の確認 三好 真 (国立天文台)
11:00 S06a Chandra 衛星による極めて強い鉄輝線を持つ活動的銀河核の検出 寺島雄一 (宇宙研)	14:24 S17a デカメータ電波パルス群の周期より結論する局部銀河群銀河中心部の超巨大ブラックホール群 大家 寛 (福井工大)
11:12 S07a Chandra Detection of Hotspot and Knots of 3C 303 片岡 淳 (東工大理)	14:36 S18a ダスト円盤の幾何学的構造が活動銀河核の近赤外光度曲線へ与える影響 高島賢二 (東大理)
11:24 S08a 電波銀河 Centaurus B からの X 線放射とエネルギー輸送 田代 信 (埼玉大理)	14:48 S19a 放射圧加速でローレンツ因子 10 の超相対論的ジェットを作る方法 福江 純 (大阪教育大教育)
11:36 S09b 銀河系中心 Sagittarius A* の 100 GHz での円偏波の測定 坪井昌人 (茨城大理)	15:00 S20a ブラックホール磁気圏におけるトロイダル磁場について 高橋真聡 (愛知教育大)
11:36 S10b GPS 電波銀河 B2 2050+36 の中心核成分を発見 亀野誠二 (国立天文台)	15:12 S21a ブラックホールへの MHD 降着流と衝撃波形成 後藤純也 (愛知教育大)
11:36 S11b Discovery of a new X-ray jet of PKS 2201+044 and its emission mechanism 久保田あや (宇宙研)	15:24 S22a 輻射冷却の効果を含めたブラックホール磁気流体降着円盤 加藤成晃 (京大基研)

## T. 銀河団 (G 会場)

3 / 24 (月)	3 / 24 (月)
15 : 36 S23a 相対論的アウトフローにおける内部 衝撃波の流体力学モデル 紀 基樹 (阪大理)	10 : 00 T01a すばるによる Cl0024+1654 銀河団 ( $z=0.4$ )の広視野 H $\alpha$ 輝線マッピング 児玉忠恭 (国立天文台)
S24c 降着円盤を覆う雲の形状と温室効果 2 北島悦子 (大阪教育大教育)	10 : 12 T02a Multicolor Imaging of the Galaxy Cluster Abell 521 at $z = 0.25$ 梅田和義 (東北大理)
S25c Poynting-flux-dominated Jets in Decreasing Density Atmospheres 中村雅徳 (Jet Propulsion Laboratory)	10 : 24 T03a Search for Galaxy Clustering at $z=4$ using an SDSS Quasar Pair 中村 理 (東大宇宙線研)
S26c 電波銀河 3C 66B における電波コア の軌道運動 須藤広志 (東北大理)	10 : 36 T04a Weak lensing による Dark Matter Halo 探し 宮崎 聡 (国立天文台ハワイ)
S27c VLA observations of H <sub>2</sub> O maser in NGC 6240 萩原喜昭 (ASTRON/Westerbork Obs., the Netherlands)	10 : 48 T05a 銀河団スケールにおけるダークマ ターハローの構造 福重俊幸 (東大総合文化)
S28c Milliparsec-scale structure and evolution of Centaurus A 堀内真司 (JPL)	11 : 00 T06b The Environment of Passive Spiral Galaxies in the SDSS 後藤友嗣 (東大理/CMU)
S29c Iron is not depleted in high-ionization nuclear emission-line regions of active galactic nuclei 長尾 透 (東北大理)	11 : 00 T07b 近赤外線カメラ SIRIUS を用いた PKS1343-601 周りのサーベイ 永山貴宏 (名大理)
S30c Measuring the black hole masses of QSOs within $0 < z < 6.1$ 木村仁彦 (京大理)	11 : 00 T08b Chandra 衛星による銀河団 Abell 3112 中心部の観測 滝沢元和 (山形大理)
S31c $z \sim 6$ の SDSS クエーサーは重力レ ンズを受けているか？ 山田早苗 (東北大理)	11 : 12 T09a Chandra 衛星による重力レンズ銀河 団 CL0024+17 の解析と質量推定 太田直美 (都立大理)
S32c Subaru high resolution spectroscopy of complex metal absorption lines of QSO HS1603+3820 三澤 透 (東大理)	11 : 24 T10a Chandra 衛星を用いた銀河団の暗黒 物質分布の研究 (2) 片山晴善 (阪大理)
	11 : 36 T11a Chandra 衛星による銀河団中心部の 低温ガスの系統的解析 川埜直美 (広島大理)
	11 : 48 T12a XMM-Newton 衛星による Centaurus 銀河団の観測 II 高橋 勲 (東大理)

## U. 宇宙論 (G 会場)

3 / 24 (月)	3 / 25 (火)
14 : 00 <b>T13a</b> A Comparative Study of X-ray Morphologies of Three Hot Clusters of Galaxies: A3571, A644 and A2255 Hudaverdi, Murat (Nagoya University, Graduate School of Science)	09 : 30 <b>U01a</b> First Year Microwave Anisotropy Probe (MAP) Observations: Maps and Basic Results 小松英一郎 (Princeton Univ., Dept. Astrophys. Sci.)
14 : 12 <b>T14a</b> 銀河団における Ia 型超新星による重元素合成 松下恭子 (MPE)	09 : 42 <b>U02a</b> 「AMiBA」干渉計による CMB 温度・偏光観測および SZ 銀河団探査計画 梅津敬一 (台湾中央研究院天文所)
14 : 24 <b>T15a</b> 銀河団の質量・温度関係 清水 守 (東大理)	09 : 54 <b>U03a</b> 超新星による宇宙膨張の測定 安田直樹 (国立天文台)
14 : 36 <b>T16a</b> heating が銀河団ガスに与える影響 内田修二 (茨大理)	10 : 06 <b>U04a</b> 遠方超新星の重力レンズを用いたハッブル定数の精密測定 大栗真宗 (東大理)
14 : 48 <b>T17a</b> 銀河団での乱流加速と非熱的放射 藤田 裕 (国立天文台)	10 : 18 <b>U05a</b> Power-law Fourier Lens Model と 4 重像重力レンズ系 PG 1115+080 への適用 川野羊三 (名大理)
15 : 00 <b>T18b</b> Detectability of Warm-Hot Intergalactic Medium through OVII and OVIII emission lines 吉川耕司 (東大理)	10 : 30 <b>U06a</b> Cosmic shear statistics in the Suprime-Cam 2.1 sq deg field: Constraints on $\Omega_m$ and $\sigma_8$ 浜名 崇 (国立天文台)
15 : 00 <b>T19b</b> 銀河団 X 線放射プラズマ分布の磁気流体数値実験 浅井直樹 (千葉大自然)	10 : 42 <b>U07a</b> すばる望遠鏡によるコスミック・ストリングの探査 I 白崎裕治 (国立天文台)
15 : 00 <b>T20b</b> 銀河団プラズマにおける磁場発生メカニズムと熱伝導抑制 岡部信広 (東北大理)	10 : 54 <b>U08b</b> Wave Effects in Gravitational Lensing of Gravitational Waves 高橋龍一 (京大理)
	10 : 54 <b>U09b</b> 銀河の分布は非加法的か 中道晶香 (ぐんま天文台)
	10 : 54 <b>U10b</b> Lagrange 的摂動論による構造形成と速度分散 立川崇之 (早大理工)
	11 : 06 <b>U11b</b> CMB 温度揺らぎの高角度分解能観測の意義 服部 誠 (東北大理)

## V. 地上観測機器 (E 会場)

3 / 25 (火)	3 / 25 (火)
11 : 06 U12b 宇宙再電離過程の宇宙モデル依存性 廣居久美子 (筑波大数物)	09 : 30 V01a TAMA300の現状 (12) 藤本真克 (国立天文台)
11 : 06 U13b 成長する密度揺らぎ中の水素分子形成 木口勝義 (近畿大理工総研)	09 : 42 V02a 重力波検出器 (TAMA 300) の長期 観測と解析の現状について 辰巳大輔 (国立天文台)
13 : 30 U14a Disappearing Dark Matter: New Limits on Non-compact Extra Dimen- sions 市来淨興 (東大理)	09 : 54 V03a すばる望遠鏡観測効率の向上 白田知史 (国立天文台ハワイ)
13 : 42 U15a 宇宙論における 3 点相関関数 高田昌広 (ペンシルバニア大物理)	10 : 06 V04a すばる望遠鏡における京都三次元分 光器第 2 号機のファーストライト 菅井 肇 (京大理)
13 : 54 U16a SDSS 銀河三点相関関数 加用一者 (東大理)	10 : 18 V05a すばる超広視野 CCD カメラ — HyperSuprime — 計画 小宮山 裕 (国立天文台ハワイ)
14 : 06 U17a ガンマ線バーストで探る初期宇宙の 星生成 米徳大輔 (金沢大理)	10 : 30 V06b すばる望遠鏡 / 京大 3 D II による sub-arcsec 三次元分光観測 佐々木 実 (下関市大 / 京大理)
14 : 18 U18a 大規模構造形成に伴う非熱的現象の 準解析的手法によるアプローチ: 系 外ガンマ線背景放射 井上 進 (MPA)	10 : 30 V07b すばる望遠鏡レーザガイド星補償光 学系の開発 (2) 早野 裕 (国立天文台)
14 : 30 U19a コンパクト電波源の $\theta - Z$ 関係によ る宇宙パラメータの制限について 岡島礼奈 (東大理)	10 : 30 V08b DIMM による多点同時シーイング測 定 浦口史寛 (国立天文台ハワイ)
14 : 42 U20a Spectroscopic Analysis of H I Ab- sorption Line Systems in 40 HIRES QSOs 三澤 透 (東大理)	10 : 42 V09b 新技術望遠鏡計画に伴う岡山天体物 理観測所の天体観測条件の評価 I 和田晋平 (京大理)
U21c Construction and enlargement of dilatonic wormholes by impulsive radiation 小山博子 (国立天文台)	10 : 42 V10b 完全空乏型 CCD の開発 鎌田有紀子 (国立天文台)
	10 : 42 V11b 超伝導トンネル接合素子を用いた近 赤外～可視～紫外～極端紫外域の一 光子分光検出器の開発 (IV) 志岐成友 (理研)
	V12c FMOS(すばる望遠鏡主焦点多天体分 光器)の開発 XI: 大型赤外線アレイ 検出器『HAWAII2』の駆動システム 衛藤 茂 (京大理)

V. 地上観測機器

3 / 25 (火)	V13c Membrane 鏡と PC を用いた補償光学装置の性能 三浦則明 (北見工大)	3 / 25 (火)	V25b 北海道大学 11m 電波望遠鏡の単一鏡試験と K バンド化の整備状況 徂徠和夫 (北大理)
10 : 54	V14a マイクロレンズ探索用新望遠鏡計画 村木 綏 (名大 STE 研)	14 : 18	V26a JVO の研究開発 (その 2 : 全体進捗) 大石雅寿 (国立天文台)
11 : 06	V15a 東アジア中口径望遠鏡天文台計画 佐藤修二 (名大理)	14 : 30	V27b JVO の研究開発 (その 3 : JVO Query Language の開発) 安田直樹 (国立天文台)
11 : 18	V16a 東工大におけるガンマ線バーストの可視光観測システムの開発 佐藤理江 (東工大理)	14 : 30	V28b JVO の研究開発 (その 4 : データベースの構築とユーザーインターフェイスの開発) 白崎裕治 (国立天文台)
13 : 30	V17a 光赤外干渉計のデータ解析 I 大石奈緒子 (国立天文台)	14 : 30	V29b JVO の研究開発 (その 5 : 検索サービスの構築) 田中昌宏 (国立天文台)
13 : 42	V18b 30m 基線三鷹光赤外干渉計 MIRA-I.2 の本観測に向けた改良 西川 淳 (国立天文台)	14 : 42	V30a JVO の研究開発 (その 6 : GRID によるプロトタイプ構築) 石原康秀 (富士通)
13 : 42	V19b TAO 望遠鏡建設のためのアタカマ調査 1 : 計画概要 吉井 讓 (東大理)	14 : 54	V31b 分散オブジェクト技術を用いた電波データ解析ツール Java 版 NEWSTAR の開発 3 池田美穂 (国立天文台)
13 : 42	V20b TAO 望遠鏡建設のためのアタカマ調査 2 : チャンナントール登頂 田中培生 (東大理)	14 : 54	V32b Martin & Puppert 型 Fourier 分光器の開口合成への応用 ~ 1 次元 uv データ取得 ~ 大田 泉 (東北大理)
13 : 54	V21b TAO 望遠鏡建設のためのアタカマ調査 3 : 気象測定 宮田隆志 (東大理)	14 : 54	V33b 電波天文観測における電力線搬送通信周波数範囲拡大の影響 土屋史紀 (東北大理)
13 : 54	V22b TAO 望遠鏡建設のためのアタカマ調査 4 : シーイング測定 本原顕太郎 (東大理)	15 : 06	V34b VERA 石垣島局の立ち上げ状況 本間希樹 (国立天文台)
13 : 54	V23b SZ 効果観測用マルチビーム受信機 S40M の高性能化 II 坪井昌人 (茨城大理)	15 : 06	V35b VERA デジタル系性能評価 II (記録系、相関器) 小山友明 (東大理)
14 : 06	V24b ミリ波・サブミリ波帯ワイヤグリッド製作装置の開発 河合利秀 (名大理)		



3 / 25 (火)		3 / 26 (水)	
15 : 06	<b>V36b</b> 電磁界シュミレータによるフランジモデルの解析 氏原秀樹 (国立天文台)	09 : 48	<b>V47b</b> ALMA 型受信機の開発 (VIII) : ALMA 型デューワー及び ALMA/ Band10 受信機の ASTE 搭載試験 杉本正宏 (東大理)
15 : 18	<b>V37b</b> 2ギガビット実時間 VLBI 関連器の完成と試験観測 木村守孝 (通信総研)	09 : 48	<b>V48b</b> ALMA 型受信機開発 (IX) : カートリッジ試験冷却装置 関本裕太郎 (国立天文台)
15 : 18	<b>V38b</b> NMA を用いた 183GHz 差動ラジオメータ位相補償法の基礎実験 II 百瀬宗武 (茨城大理)	09 : 48	<b>V49b</b> ALMA プロトタイプアンテナ評価用ミリ波受信機の開発 小川英夫 (大阪府大総合科学)
15 : 18	<b>V39b</b> 惑星電波観測用大型メートル・デシメートル波帯電波望遠鏡の開発 三澤浩昭 (東北大理)	10 : 00	<b>V50b</b> ミリ波サイドバンドセパレーションミクサの開発 浅山信一郎 (大阪府立大総合科学)
	<b>V40c</b> 山口 32m 電波望遠鏡の追尾システムの高精度化 藤下光身 (九州東海大工)	10 : 00	<b>V51b</b> ASTE 搭載 3 色ポロメータの開発 (4) 関口朋彦 (国立天文台)
	<b>V41c</b> 山口 32m 電波望遠鏡の整備と VLBI 試験観測 藤沢健太 (山口大理)	10 : 00	<b>V52b</b> ASTE 搭載 100/230/350GHz 帯受信機とそれによる試験観測 河野孝太郎 (東大理)
	<b>V42c</b> 鹿島 34m アンテナによるミリ秒パルサー PSR1937+21 観測報告 花土ゆう子 (通信総研)		<b>V53c</b> 那須球面鏡アレイ用ベースバンド記録ディスクアレイおよび 1.4 GHz 受信機の集積化 遊馬邦之 (早大宇物研・埼玉久喜高)
3 / 26 (水)			<b>V54c</b> 早大那須観測所におけるナイキストレートサンプリング観測 竹内 央 (早稲田大教育)
09 : 00	<b>V43a</b> ASTE 計画の進捗と今後 江澤 元 (国立天文台)		<b>V55c</b> 天体を使用した電波ホログラフィー法による NMA 10m 鏡鏡面測定 2 齋藤正雄 (国立天文台)
09 : 12	<b>V44a</b> ASTE ホログラフィ法による鏡面の高精度化 (2) 山口伸行 (国立天文台)		<b>V56c</b> サブミリ波ホーンの開発および評価 松永真由美 (愛媛大工)
09 : 24	<b>V45a</b> ALMA 型ミリ波受信機の ASTE 望遠鏡搭載実験及び試験観測 木村公洋 (大阪府大総合科学)		
09 : 36	<b>V46a</b> ALMA 型受信機開発 (VII) : ALMA Band 8 受信機の ASTE 搭載試験 奥田武志 (東大理)	10 : 12	<b>V57a</b> AD 変換器のジッタ測定 沖浦真保子 (東大理)

W. 飛翔体観測機器 (F 会場)

3 / 26 (水)	3 / 25 (火)
10:24 <b>V58a</b> 電波天文観測用超高速 AD 変換 LSI の設計 奥村幸子 (国立天文台)	09:30 <b>W01a</b> 次期赤外線天文衛星 SPICA のための大型冷却望遠鏡の開発 金田英宏 (宇宙研)
10:36 <b>V59a</b> アタカマリ波サブミリ波干渉計 (ALMA) 第 2 世代分光相関器の開発 百瀬宗武 (茨城大理)	09:42 <b>W02b</b> SPICA 望遠鏡のための軽量複合材料鏡材 C/SiC の評価 塩谷圭吾 (宇宙研)
10:48 <b>V60a</b> F-FX 相関器 井口 聖 (国立天文台)	09:42 <b>W03b</b> 冷却赤外線望遠鏡用 CFRP 鏡の開発 尾中 敬 (東大理)
11:00 <b>V61a</b> 野辺山ミリ波干渉計搭載 345GHz 帯受信機によるサブミリ波帯干渉実験 河野孝太郎 (東大理)	09:42 <b>W04b</b> C/C 複合材料による軽量鏡開発 小原直樹 (東大理)
11:12 <b>V62a</b> HEB 受信機の開発 前澤裕之 (国立天文台野辺山)	09:54 <b>W05a</b> ASTRO-F 搭載近中間赤外線カメラ (IRC) 開発の現状 和田武彦 (宇宙研)
13:00 <b>V63a</b> 地球大気による電波位相シンチレーションの空間分布計測 西尾正則 (鹿児島大理)	10:06 <b>W06a</b> ASTRO-F 搭載用遠赤外フーリエ分光器および FIS 分光モードの性能評価 III 小沢啓太 (名大理)
13:12 <b>V64a</b> スーパー SINET と GALAXY 回線による光結合型実時間電波干渉計観測 川口則幸 (国立天文台)	10:18 <b>W07b</b> ASTRO-F 衛星搭載遠赤外線観測装置 FIS 開発の現状報告 川田光伸 (名大理)
13:24 <b>V65a</b> 汎用科学インターフェースとインターネットによる日本-フィンランド間の 22GHz-VLBI ギガビット観測の成功 中島潤一 (通信総研)	10:18 <b>W08b</b> ASTRO-F 搭載近赤外線カメラ (NIR) の性能評価 金 宇征 (東大理)
13:36 <b>V66a</b> 那須球面鏡アレイの拡張および信号処理 大師堂経明 (早大宇宙研)	10:18 <b>W09b</b> ASTRO-F 搭載中間赤外線カメラ (MIR-S) の性能評価 石原大助 (東大理)
13:48 <b>V67a</b> 南米ペルーの通信衛星用の 32m アンテナを電波望遠鏡に Ishitsuka, Jose K. (国立天文台)	10:30 <b>W10b</b> ASTRO-F 搭載中間赤外線カメラ (MIR-L) 光学系の性能評価: その 3 藤代尚文 (東大理)
	10:30 <b>W11b</b> 遠赤外分光観測用イマーショングレインティングの開発 II 吉戸智明 (名大理)
	10:30 <b>W12b</b> 電磁波解析による遠赤外線検出器用キャビティの最適化 阿部博史 (名大理)
	10:42 <b>W13a</b> スペース重力波アンテナ DECIGO 計画 (2) 川村静児 (国立天文台)

<p>3 / 25 (火)</p> <p>10 : 54 <b>W14a</b> 次期スペース VLBI 計画の検討の現状 II 村田泰宏 (宇宙研)</p> <p>11 : 06 <b>W15a</b> GSO,BGO を用いた宇宙 <math>\gamma</math> 線用シンチレーション検出器の開発 川本和弘 (広島大理)</p> <p>11 : 18 <b>W16b</b> ループアレイ型位相シフト膜の特性評価 氏原秀樹 (国立天文台)</p> <p>11 : 18 <b>W17b</b> 一次元半導体検出器とフーリエ光学系を用いた高空間分解能ガンマ線イメージャーの開発 岡田 祐 (東大理)</p>	<p>3 / 25 (火)</p> <p>14 : 54 <b>W26b</b> 断熱消磁冷凍機を用いた極低温 X 線検出器動作環境の構築 篠崎慶亮 (都立大理)</p> <p>14 : 54 <b>W27b</b> 超高精度 X 線望遠鏡の開発 ~ 可視光 X 線分離フィルターの性能評価と主鏡の形状測定 ~ 山本則正 (立教大先端)</p> <p>15 : 06 <b>W28a</b> 高角分解能多重薄板型 X 線望遠鏡の研究・開発 早川 彰 (都立大理)</p> <p>15 : 18 <b>W29a</b> 広視野 X 線分光ミッションのための X 線望遠鏡の開発 - I 田原 譲 (名大理)</p>
<p>13 : 30 <b>W18a</b> ガンマ線バースト観測用 Swift 衛星 ~ Burst Alert Telescope ~ 佐藤悟朗 (宇宙研)</p> <p>13 : 42 <b>W19a</b> ガンマ線バースト観測衛星 Swift 搭載 BAT 検出器の較正実験の評価 鈴木雅也 (埼玉大理)</p> <p>13 : 54 <b>W20a</b> 大学規模での衛星開発: 50kg 級 <math>\gamma</math> 線観測衛星「風鈴」の提案 山本佳久 (東工大理)</p> <p>14 : 06 <b>W21a</b> 軟 X 線検出用 アバランシェフォトダイオードの開発 谷津陽一 (東工大理)</p> <p>14 : 18 <b>W22a</b> アバランシェフォトダイオードを用いた、シンチレーション <math>\gamma</math> 線検出器の開発 五十川知子 (東工大理)</p> <p>14 : 30 <b>W23a</b> TES 型 X 線マイクロカロリメータの開発 V - 高分解能素子の応答特性 - 森田うめ代 (都立大理)</p> <p>14 : 42 <b>W24a</b> 撮像型の TES 型 X 線マイクロカロリメータの読み出し系の開発 II 伊予本直子 (宇宙研)</p> <p>14 : 54 <b>W25b</b> TES 型 X 線マイクロカロリメータの開発 VI - マッシュルーム形状スズメッキ吸収体の製作と性能評価 - 古賀丈雄 (都立大理)</p>	<p>3 / 26 (水)</p> <p>09 : 00 <b>W30a</b> X 線望遠鏡用非球面薄板基板の開発 IV 粟木久光 (愛媛大理)</p> <p>09 : 12 <b>W31a</b> CMOS イメージセンサーとガス増幅フォイルを用いた X 線偏光計の開発 桜井郁也 (理化学研)</p> <p>09 : 24 <b>W32a</b> CCD を用いた 0.1 から 100keV に感度を持つ広帯域高性能 X 線検出器の開発 宮田恵美 (阪大理)</p> <p>09 : 36 <b>W33a</b> 位置分解型ガス検出器 <math>\mu</math>-PIC を用いた X 線偏光測定のエネギーおよびガス依存性 植野 優 (京大理)</p> <p>09 : 48 <b>W34a</b> ワイドバンド偏光検出型ハイブリッド X 線カメラの開発 鶴 剛 (京大理)</p> <p>10 : 00 <b>W35a</b> 硬 X 線撮像による非熱的現象の解明 國枝秀世 (宇宙研)</p> <p>10 : 12 <b>W36a</b> Ground Support Electronics for Testing the Preflight Performance of the MAXI-GSC 芹野裕理 (東工大理)</p>

X. 情報処理 (G 会場)

3 / 26 (水)	3 / 24 (月)
10 : 24 <b>W37b</b> 全天 X 線監視装置(MAXI)の現状 三原建弘 (理研)	15 : 12 <b>X01a</b> GRAPE-VPP5000 異機種並列天文シ ミュレータ III. 一衝突系 - 格子系シ ミュレーション 矢作日出樹 (国立天文台)
10 : 24 <b>W38b</b> 次期 X 線天文衛星 NeXT 搭載用 N 型 CCD の性能評価 高木慎一郎 (京大理)	15 : 24 <b>X02a</b> 宇宙シミュレーション・ネットラボ ラトリーシステムの公開 松元亮治 (千葉大理)
10 : 24 <b>W39b</b> Astro-E2 衛星搭載 X 線 C C D カメラ の可視光遮断フィルターの特性 II 幸村孝由 (立教大理)	15 : 36 <b>X03b</b> 宇宙シミュレーション・ネットラボ ラトリーシステムの開発 (8) : NetCANS 福田尚也 (千葉大理)
10 : 36 <b>W40a</b> ASTRO-EII 搭載の CCD カメラ XIS(I) 林田 清 (阪大理)	15 : 36 <b>X04b</b> Morton を用いた GRAPE による近傍 粒子探査の加速法 斎藤貴之 (北大理)
10 : 48 <b>W41a</b> ASTRO-E2 搭載 CCD カメラ(XIS)校 正システムの改良及び性能評価 中嶋 大 (京大理)	15 : 36 <b>X05b</b> 拡張ペリオドグラムを用いた非線形 調和解析の検出限界 原田 渉 (東大理)
<b>W42c</b> X 線 CCD カメラの高速イベント処理 実験 太田方之 (宇宙研)	15 : 48 <b>X06b</b> photon 統計に基づいた変光天体測定 コードの開発 諸隈智貴 (東大理)
11 : 00 <b>W43a</b> Astro-E2 衛星搭載硬 X 線検出器 (HXD-II)の全天モニタ機能の開発 川添哲志 (広島大理)	<b>X07c</b> 星間通信用「明」号文と双子素数 横尾広光 (杏林大保)
13 : 00 <b>W44a</b> Astro-E2 衛星搭載 X 線分光装置 XRS センサーの進捗状況 藤本龍一 (宇宙研)	
13 : 12 <b>W45a</b> Astro-E2 搭載フィルターホイール用 フィルタエレメントの特性評価 井上智暁 (都立大理)	
13 : 24 <b>W46a</b> Astro-E2 搭載 X 線望遠鏡 XRT の開 発 (I) 前田良知 (宇宙研)	
13 : 36 <b>W47a</b> Astro-E 搭載 X 線望遠鏡の性能決定 要因の評価 見崎一民 (宇宙研)	
13 : 48 <b>W48a</b> Astro-E2 搭載 X 線望遠鏡用プリコリ メータ 搭載品 (FM) の性能評価 飯塚 亮 (宇宙研)	

## Y. 天文教育・その他 (B会場)

3 / 25 (火)			
14 : 18	<b>Y01a</b>	1 マイクロ秒角の電波基準座標系を目指して (2) 藤下光身 (九州東海大工)	<b>Y12c</b> 日米のリモート望遠鏡を用いた共同観測の試み 木村かおる (理化学研)
14 : 30	<b>Y02a</b>	大学・研究機関からの学校教育支援活動のあり方に関する実証的研究 縣 秀彦 (国立天文台)	<b>Y13c</b> しし座流星群の3次元可視化シミュレーション 村岡雅江 (千葉大理)
14 : 42	<b>Y03a</b>	Jupiter Project 画像を用いた授業実践—木星質量の決定を題材として— 松本直記 (慶應義塾高校)	<b>Y14c</b> 高校生天体観測ネットワーク (Astro-HS) の2002年度活動について 鈴木文二 (三郷工業技術高校)
14 : 54	<b>Y04a</b>	4次元デジタル宇宙データの天文教育への応用 林 満 (科学技術振興事業団)	<b>Y15c</b> 高校生による月面分光地質学 —Feマップの作成 岩永初穂 (成蹊高校)
15 : 06	<b>Y05b</b>	国立科学博物館所蔵の江戸時代天球儀について 西城恵一 (国立科学博物館理工)	<b>Y16c</b> 洛東高校—花山天文台太陽物理観測実習の取組 西村昌能 (洛東高校)
15 : 06	<b>Y06b</b>	天文分野における中学・高校・大学の有機的な連携への提案 有本淳一 (塔南高校)	<b>Y17c</b> 高等学校物理における天文分野の指導方法に関する研究 ~ブラックホールで物理を~ 篠原秀雄 (三郷北高校)
15 : 06	<b>Y07b</b>	大学における天文学の授業：内容の評価と検討 鷹野重之 (東大総合文化)	<b>Y18c</b> 幕府天文方、渋川景佑と手付手伝峰源助の学問的交流 伊藤節子 (国立天文台)
15 : 18	<b>Y08b</b>	教育センターにおける天文教育研修についての実態調査 五島正光 (巣鴨中学高校)	
15 : 18	<b>Y09b</b>	プラネタリウムにおける天文学会講師派遣プロジェクトの実践 毛利勝廣 (名古屋市科学館)	
15 : 18	<b>Y10b</b>	流星電波観測の公開天文台としてのリード 豊増伸治 (みさと天文台)	
	<b>Y11c</b>	長波標準電波による日本標準時の供給 金子明弘 (通信総研)	

## 第5回ジュニアセッション (G会場)

3 / 26 (水)

- 09:00 **01: Leonids 2001 から求めた流星の出現高度** ..... <口頭・ポスター>  
 成田英雄、若旅久嗣、山崎美鈴、吉元 彩、南部広夢 (高2)、  
 新居博之、山津千佳、土石直也、野口恵利 (高1)  
 【埼玉県立越谷北高等学校 天文気象部】
- 02: HRO が観測する流星を知る! ~ HRO 観測領域計算の検証~** ..... <口頭・ポスター>  
 内海洋輔 (中等6) 【東京大学教育学部附属中等教育学校】
- 03: 国際宇宙ステーションを用いた流星経路同定手法の練習** ..... <口頭・ポスター>  
 山田翔大、高津貴大 (高1)、佐々木祐一 (高2)、竹本孝輔 (高3)  
 【東京工業大学工学部附属工業高等学校 科学部】
- 04: 双子座流星群の流星電波観測による電波反射点移動の検出** ..... <口頭・ポスター>  
 小林智幸、金井翼、兒玉洋平、渡辺みなみ、内堀拓哉、川手俊憲、  
 丸山裕司、下寄ゆり、和田枝麗、中澤慎太郎、戸谷 卓、山崎晃一、  
 吉岡 賢、坂井 純 (高1)  
 【長野工業高等専門学校】
- 05: 流星塵と HRO (アマチュア無線電波観測) からみた  
 2002 年 11 月 - 12 月の流星群の活動について** ..... <口頭・ポスター>  
 大越優希、笹浪真里依、板東悠紀 (高1)、櫛桁あかね、渋谷早季子 (高3)  
 【遺愛女子中学高等学校】
- 10:00 **06: 君でも求められる小惑星の軌道 ~地球の危機を察知せよ~** ..... <口頭>  
 杉本雅明 (高2) 【私立巣鴨高校】  
 木村小督 (高2) 【私立國學院大學久我山高校】  
 中山桂一、北村泰司 (高2) 【私立桐蔭学園高校】
- 07: 超新星・新星の測光 一特に V838MON について** ..... <口頭・ポスター>  
 宗像真弓、杉井かおり、陶山史織 (高2) 【成蹊高等学校 天文気象部】
- 08: 銀河の星の種族分けと分布** ..... <口頭>  
 阿部真理子 (10) 【ウィルスンスクール (Home Education)】  
 荒川久志 (高3) 【ストニハースト校 (英国)】  
 梅畑豪紀 (高1) 【奈良私立東大寺学園高校】  
 北村美佐絵 (高3) 【金沢大学教育学部附属高校】
- 09: 宇宙は膨張しているのか** ..... <口頭・ポスター>  
 植田準子 (高1) 【京都市立堀川高校】  
 鈴木慶子 (高1) 【宇都宮市立作新学院英進部】  
 長沢桃子 (高3) 【テネシー明治学院高等部】  
 三木奏瑛 (高2) 【神奈川県立神奈川総合高校】

10: カッシーニの空気望遠鏡の再現 ～完結編～ ..... <口頭>  
 大井亜由美、菊池麻里奈、武藤有希 (高2)  
 【茨城県立水戸第二高等学校】

13:00 11: 太陽彩層高度の極一赤道差の検出の試み ..... <口頭・ポスター>  
 平田佐保子、原明亜矢子、森次奈津子 (高専3)、  
 阿部勝世、高見直道 (高専1)  
 【国立米子工業高等専門学校】

12: 分光観測による太陽の緯度ごとの自転速度の測定 ..... <口頭・ポスター>  
 宇賀神知紀 (高2) 【巣鴨高等学校】  
 高津貴大 (高1) 【東京工業大学工学部附属工業高校】  
 鷹松 忍 (高1) 【東京大学教育学部附属中等教育学校】

13: 高分散スペクトルを利用した太陽の自転速度と黒点磁場の測定 ..... <口頭・ポスター>  
 柳 真之、山崎史裕、林 貴子、松本悠祐、幾山幸治、  
 後藤達也、澤田弘剛 (高2)  
 【京都府立洛東高校】

14: NOAA0069 で観測されたフレアの  $H\alpha$  スペクトル ..... <口頭・ポスター>  
 幾山幸治、後藤達也、澤田弘剛、柳 真之、山崎史裕、  
 林 貴子、松本悠祐 (高2)  
 【京都府立洛東高校】

ポスターのみ

15: 高感度カメラがとらえた星の日周運動 ..... <ポスター>  
 鷹取吾一 (中2)、向井僚、奥山史宗、増井亮佑、福田圭祐、岸本祐樹 (中1)、  
 浦木義治、浦木秀治、河口肇 (中2)  
 【鳥取市立東中学校 科学部】

16: 電波流星観測 (HRO) から得た主要流星群毎の同時流星検出率の比較 ..... <ポスター>  
 松本有美恵、古澤良子、青木由 (高2)、石川拓也 (高1)  
 【上田高校 天文気象班】  
 小林彩、飯島由紀子 (高専3) 【長野工業高等専門学校】

17: HRO による 2002 年の流星の出現状況 ..... <ポスター>  
 瀧上真梨子、浅井愛由美、町田知草、木本清香 (高2)、倉沢美穂、森市尋絵 (高1)  
 【私立星野女子高等学校 天文部】

#### 年会実行委員会

委員長	土居 守	(東大理)
委員	児玉 忠恭	(国立天文台)
	下条 圭美	(国立天文台)
	藤本 龍一	(宇宙研)
	百瀬 宗武	(茨城大理)
	山村 一誠	(宇宙研)
	鈴木 知治	(東大理)
	加藤 万里子	(慶應大) 保育室担当
	吉川 真	(宇宙研) ジュニアセッション担当

#### 年会開催地理事

	谷口 義明	(東北大理)
--	-------	--------